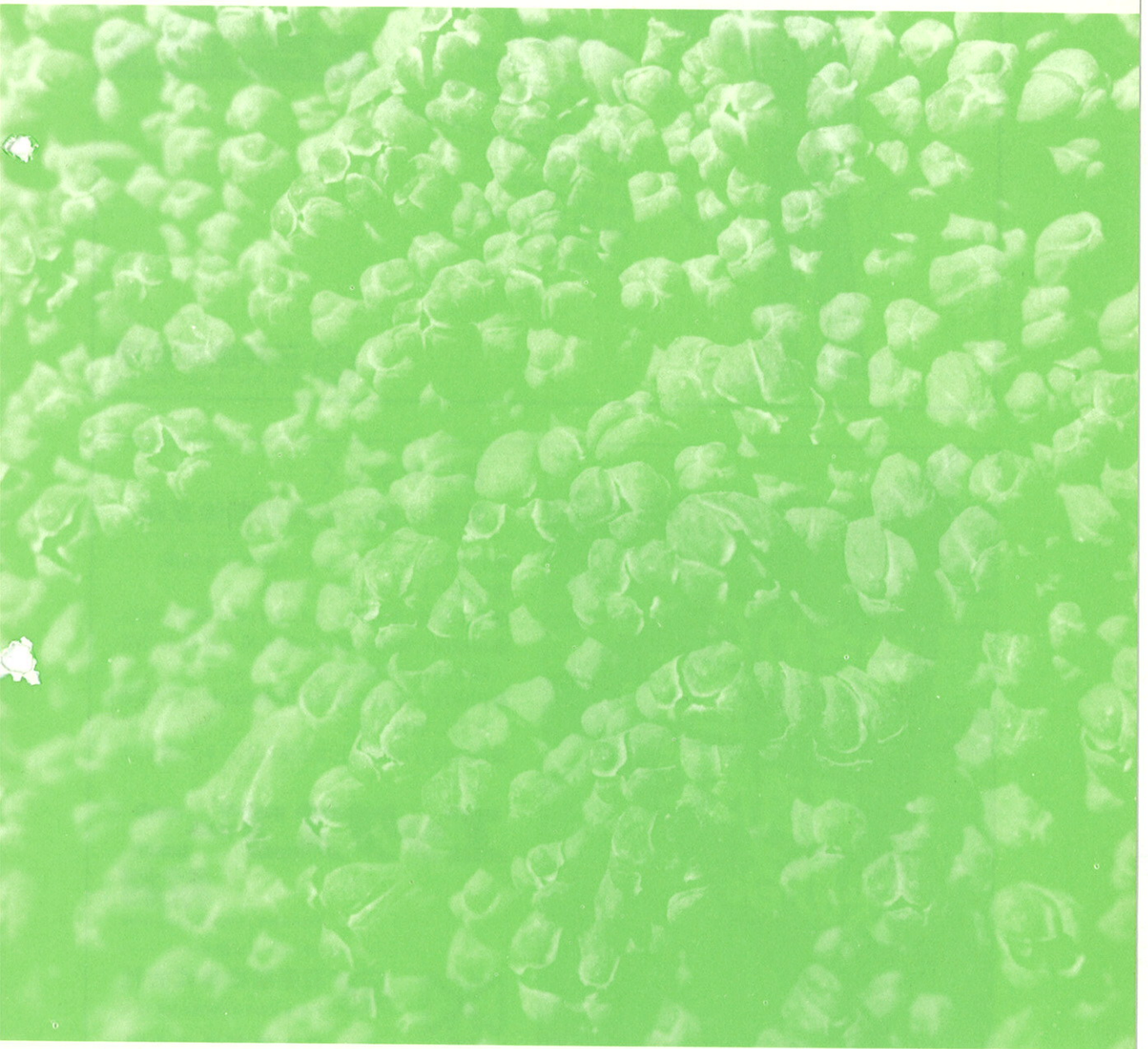


# 植調

第24巻第12号



財団法人 日本植物調節剤研究協会編



## 名指揮者

数多くの音楽を演出する指揮者。  
激しく、または柔らかくタクトを振り、  
それぞれの音楽を上手に創り上げます。  
農作業場面も多種多彩。  
それぞれの場面に応じられる指揮者が必要です。  
三井東圧化学は、  
農作業場面の指揮者として、  
除草、殺虫、殺菌など、  
それぞれの場面にあった農作業を  
上手に演出します。

経済的な初期除草剤

**MO粒剤-9**

---

ホタルイ等に卓効を示す初期除草剤

**シヨウロンM粒剤**

---

水田初・中期一発処理剤

**シンザン粒剤**

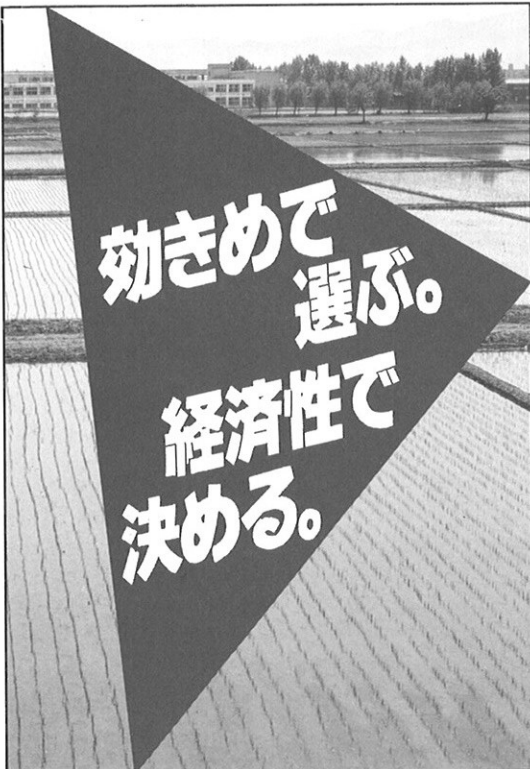
---

水田初期一発処理剤

**オーザ粒剤**



**三井東圧化学**  
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌



効きめで  
選ぶ。  
経済性で  
決める。

### 苗にやさしく 雑草に強い水田初期除草剤

- 効めが長く、すばらしい殺草力を発揮。
- 低温でもイネに対して安全。
- 人畜毒性、魚毒性ともにきわめて低く、安心。
- 田植前に使用の場合は散布後3日以上の間隔をあけて田植する。
- 田植後に使用の場合は田植後8日(ノビエ1葉)までに散布する。
- 散布後3日間以上は止水にし、かけ流しはしない。

## エックスゴーニ® 粒剤

®は日本農薬と石原産業の共有登録商標

—— エックスゴーニ協議会 ——

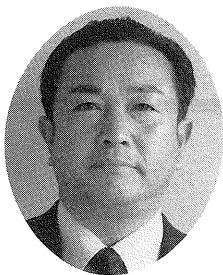


石原産業株式会社  
〒102 東京都千代田区富士見2-10-30



日本農薬株式会社  
〒103 東京都中央区日本橋1-2-5

○本剤のシンボルマークです



## 巻 頭 言

### コシヒカリの栽培と植調剤

(財)日本植物調節剤研究協会 理事 北陸支部長 高橋 耕二

消費者の良質（食味）米嗜好が高まるにつれて、コシヒカリの作付が、このところ急増している。北は東北の福島県から南は鹿児島県まで、実に広く栽培されるようになり、平成2年度は全国で60万haを超え、全作付面積の20%を占めているようである。

このことの善悪は別として、昭和30年頃から育成地の福井農試を中心として、コシヒカリ作りに強くかかわった者として、ただ驚くばかりである。単一品種の日本記録（面積・比率）を大きくぬりかえるばかりか、さらに増加しようとしている現実には、筆者の近くに住む育成者の石墨慶一郎先輩も咄然としているのであります。

ところで、コシヒカリという品種の特徴は、良食味が最大の長所で、次いで広域適応性高く、熟色がよく、穂発芽性小さく、倒伏はするが彎曲性があり、窒素の多施用でもあまり急激な分げつをしないなどの性質をもつ。反面、稈が長くて、倒れ易く、苗も徒長し、イモチ病にも強くないので増収向とは言えない欠点をもつ。

そのため増産時代には重視されなかったのである。この長稈、倒伏易の欠点を植調剤で短稈化したり、登熟向上させて安定度を高くしようとするのであるから、或意味では植調剤の展開普及にとって、コシヒカリの栽培があればこそとも言えるのではないだろうか。

現段階では、実用的ハイブリッドライスやコシヒカリ以上の良食味で、短稈品種が国内で、今すぐ出現しそうな状態であるから、当分の間、コシヒカリを主対象とする実用化が続くように思う。そしてこのことがすすめば、かつ

てすてられた長稈・良食味品種（旧旭系など）に、植調剤の調査対象を拡大してみることも無意味でないように思えてくる。

水稻の品種改良は、良質・強短稈・耐病・虫性のものを求めて、事業がすすめられ、著しい成果をあげている。最近では、比較的评价の低かった北海道産米にも、「きらら397号」のような品種が出現して話題になっており、東北の「あきたこまち」、九州の「ヒノヒカリ」も、かなりの人気を得ているようである。いずれもコシヒカリより、かなり価格の安いことが、米穀業者の評価を高めているように考えられる。

日本人の所得やエンゲル係数からみると、業務的なものを除き、一般家庭では、コシヒカリの単価が現状程度であれば、購入に強い抵抗があるとは思われない。それだけにコシヒカリやその親（農林22号に関連する系譜のものなど）関連の品種と植調剤の適応性をみてもいいし、地域の土壌によってコシヒカリが長稈化しすぎたり、登熟に問題を生ずる地域での検討を試みることも考えられよう。

何だか品種改良の経過を逆なでするようなことを述べた点もあって、矛盾を感じないでもないが、科学の進歩は常に新しい条件が整えば、過去に不可能であった事象に見直しをかけて、それを可能にすることの出来るものとも言えるので、無駄ではないのではなからうか？

除草剤を主体に当協会は発展して来ているし、今後も続くであろうが、作物の生育調節剤として大型の資材が生れ、期待出来ると思うので、敢て提言し、効率のよい稲作を展開したいものである。

## 目 次

(第24巻 第12号)

## 巻 頭 言

コシヒカリの栽培と植調剤…………… 1

&lt;財&gt;日本植物調節剤研究協会 理事

北陸支部長 高橋耕二&gt;

農業研究センターの研究活動と最近の成

果…………… 3

&lt;農業研究センター 所長 金田忠吉&gt;

平成2年度水稲作関係除草剤試験成績概

要…………… 11

&lt;財&gt;日本植物調節剤研究協会 技術部&gt;

研究所・試験場めぐり…………… 59

&lt;果樹試験場盛岡支場&gt;

表紙説明：第24巻の表紙は、花やさい

豊かな収穫が見えてくる。



使って安心・三共の農薬

三 共 の 農 薬



●水田初期除草剤

**サンバード®** 粒剤

●水田初期一発処理剤

**クサカリン®** 粒剤25

●水田初期一発処理剤

**クサホープ®D** 粒剤

●初・中期一発処理(除草)剤

**ザーワD<sub>17</sub>** 粒剤**ザーワ** 粒剤25**三共株式会社**北海道三共株式会社  
九州三共株式会社

# 農業研究センターの 研究活動と最近の成果

農業研究センター 所長 金田 忠吉

## 役割と組織

農業研究センターは今年12月に設立満10周年を迎える。昨年、4年ぶりの研究レビューが行われて、センター全般の研究推進状況や管理運営などが点検された。また現在、平成2年度の試験研究推進会議に向けて、研究成果や新規課題の一連の検討が進められているので、この機会に農業研究センターの組織や研究の内容について紹介してみたい。

農業研究センターは、農事試験場を中核にして、農業経営、作物栽培生理、作物保護などの研究部門を強化して昭和56年12月に設立されたのであるが、設立のもっとも大きな目的は、筑波に移転した多くの国の研究機関の集中のメリットを活かし、その研究成果を活用して総合的な研究を行うことにより、新しい農業に即応する総合技術体系を確立することにあった。この「総合研究」の役割のほかに、農事試験場の持っていた「水田作・畑作」に関する専門研究場所としての役割と、「関東東海」地域農業試験場としての役割とを引き継いでいるので、農業研究センターはいわゆる「3足のわらじを履く」特別な研究機関となっている。

こうした役割を果たすために、農業研究センターには6名の総合研究官と6プロジェクト研究チーム、8つの研究部とが置かれており、その研究活動を支え、円滑に運営するために総務

部と企画調整部がある。圃場や家畜の管理を直接に担当する3つの業務科は企画調整部に所属している。平成2年度における定員は、研究職212、行政職(I)56、行政職(II)63、指定職1であるが、この他に多数のパート職員がセンターの活動を支えている。またセンターの運営に関して、各界からの意見を反映させるために、農業者、公立や民間の研究機関、学識経験者などの19名の委員から成る運営会議を開催する。この委員は大臣の承認を得て毎年任命される。

## 研究の推進

農業研究センターで実施される試験研究課題のすべては、「農業研究センターの研究基本計画」(昭和60年2月)に則っている。この基本計画では、以下の8つの主要研究問題を大きな柱に立てて課題を整理している。

- I. 作物の高位生産技術の確立
- II. 作物生産環境管理技術の確立
- III. 高生産性作業技術の確立
- IV. 営農技術情報システムの開発
- V. 高生産地域営農システムの確立
- VI. 高収益農業経営の確立
- VII. 農村社会活性化方策の確立
- VIII. 食料潜在生産力の技術的評価

それぞれの柱のもとに大課題、その下に中課

題、これに小課題が立てられ、多くの場合は更に細部課題が置かれる。全体の構成はおよそ10年間を想定した課題立てとなっており、前・中・後の3期に分けて実施時期を考えているのは、他の研究機関と同様である。

試験研究の進行管理は主として成果・設計所内検討会で行われる。これは研究室→研究部→全所と検討の場を重ね、主要な研究成果とその利活用について、また新規課題の事前評価などについて議論する。「総合農業（総合研究と水田作・畑作研究）」あるいは「関東東海農業」試験研究推進会議に提出されるのは、こうした検討を経たものであり、公表される研究成果情報（新品種、新技術、新知見など）は推進会議で採択されたものに限られ、①普及に移しうる成果、②技術指導の参考になる成果、③技術開発に有効な情報、④行政施策に反映すべき情報、に分類して発表されるほか、いくつかの刊行物に仕分けて公表される。最近の成果の中にはデータベースやプログラムソフト等も少なくなく、知的所有権の問題がからんで扱いに迷う場合もでてくる。例えば関東東海地域の各県の協力を得て、様々のデータを集め、これを膨大なデータベースに仕上げて、栽培技術システムに活用できるようになっても、単純に①にすればよいとはいえない。また成果の発表に、最近の電子情報技術の進歩を活かしてゆこうとする動きが急速に高まってきているが、ここにも同様の問題がある。

以下には、本誌の読者層と与えられた頁数を考慮して、農業研究センターの幾つかの研究部に限定し、主としてここ1、2年における研究成果を（平成2年度分のは現時点では話題として）紹介したい。

### 作物生産研究分野の成果から

最近の国の水稲育種の成果に、外国品種利用により超多収性を目標としたものから多く出ているが、韓国品種を両親とする「タカナリ」もその一つである。これは北陸農試の「ハバタキ」と姉妹関係にあり、昨年農林登録されたものであるが、適応地域は関東東海地域の早期・早植栽培地帯で、耐冷性は優り、収量は日本晴対比で20～30%多く、主として加工向きと考えてよい。多収性といえばハイブリッド稲が連想されるが、従来、ハイブリッドを育成するためには、細胞質雄性不稔系統や維持系統、それに稈性回復系統のセットを必要とするのが常識だった。しかし、この方式では育種年限に長期を要し、採種（種子純度の保持）などにも問題が多かった。これに対して、農業研究センターで新たに発見されたものは、細胞質によらずに温度感応性の核遺伝子に支配される雄性不稔を利用するもので、維持系統も回復系統も要らず、育種手順や実際栽培などで飛躍的な進歩と考えられる。この特性を利用すれば、適当な作期を選ぶことにより、雄性不稔系統でありながら自殖でき、またハイブリッドになったときには、劣性遺伝子支配の雄性不稔が隠されて、通常の稈性が発

第1表 中間母本農12号の温度反応

| 品 種 名                  | 栽 培 温 度 | 花 粉 稈 実 率 | 稈 実 率 |
|------------------------|---------|-----------|-------|
| 中<br>母<br>農<br>12<br>号 | 31℃     | 0.0%      | 0.0%  |
|                        | 28℃     | 11.9      | 3.2   |
|                        | 26℃     | 92.5      | 89.7  |
|                        | 24℃     | 95.9      | 88.9  |
|                        | 21℃     | 92.9      | 82.7  |
| レ<br>イ<br>メ<br>イ       | 31℃     | 98.4      | 93.3  |
|                        | 28℃     | 99.8      | 78.6  |
|                        | 26℃     | 97.7      | 95.8  |
|                        | 24℃     | 96.9      | 83.4  |
|                        | 21℃     | 91.1      | 88.7  |

人工気象室、15時間日長。

現するというものである（第1表）。この新しい雄性不稔系統はレイメイの放射線突然変異で得られたもので、水稻中間母本農12号として命名登録され、広く母本として配付されている。

稲のバイテク育種では、農業生物資源研究所との共同研究により、縞葉枯病の病原ウィルスの外被蛋白遺伝子を組み込んだものができた。今後、抵抗性のレベルの向上なども含めて、まだ多くの検討を残しているが、実用的な農業形質をもつ形質転換稲が、今後いろいろと育成されることは確実である。

主食用の稲では、世界的に著名なバスマティ米の形と香りを取り入れた、全く新しいタイプの米をいよいよ世に出すことにした。これは、香りづけに少量混ぜて使う日本古来の香り米とちがって、100%そのもので炊くもので、ご飯は芳しい香りがあり、歯応えや腹応えは大変に軽く、今後さまざまな調理に用いられて、広く愛されることを期待したい。倒伏しやすく、収量は通常の品種に比較して3割程度であるが、付加価値の高さや、栽培法の改善などで収益性は保証されると考えている。

水稻の栽培研究では、日印交雑による超多収育成品種の栄養生理特性に関する成果が高く評価される。こうした超多収品種では、通常の日本稲にくらべて、N、P、Kとも吸収量が10～25%多く、幼穂形成のための貯蔵物質の量、N、P、同化産物の穂への移行量が多く、出穂前後の光合成が活発で登熟期後半まで上位2～3葉の葉色を濃く保つことが必要である。葉色は栄養診断の有効な指標となることも確かめられている。

小麦の育種における現在の最重要課題は品質の改善である。自給率を現在の14%から10年後に19%に引き上げる目標を達成するには、流通

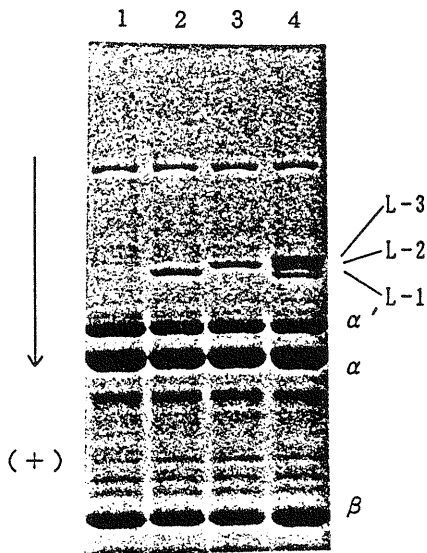
面での諸改善も必要であるが、品種特性としては、製粉歩留や製麺適性、穂発芽（低アミロ）耐性の向上などの育種上の課題がある。新品種「バンドウワセ」（関東100号）は、まず製粉歩留を農林61号よりも大幅に向上させ、熟期は農林61号より数日早め、麺の色も改善しており、多くの府県の期待を担って今後広く普及するものと思われる。

小麦の品質改善に関する研究は最近急速に進展しており、特に製麺適性に関する皮ばなれやふるい抜けの良否、麺の食感に関するアミロース含量の品種間差（つるつるした食感は、低アミロース含量のものから得られ、関東107号は世界屈指の低アミロースの系統であることが明らかにになった）、その他多くの知見が得られているので、今後の育種の進展が期待される。

関東の麦作には、最近大麦縞萎縮病や麦類萎縮病による被害が広がってきたが、熟期、収量、品質がカシマムギと同等で、この両病害に強い大麦新品種「マサカドムギ」が育成され、茨城県で普及に移された。抵抗性の遺伝子源は、竹林茨城1号の放射線突然変異系統Ea52で、ミサトゴールデンなどの二条大麦のものとは異なるものである。

農業研究センターの豆類育種研究室は、昭和62年にスタートしたばかりであるが、蛋白質の改善や貯蔵害虫抵抗性の研究で成果をあげている。インゲン種子に含まれる物質は、アゾキゾウムシやヨツモンマメゾウムシの幼虫の消化管の $\alpha$ -アミラーゼを強く阻害する蛋白質であることを明らかにした。今後はこの蛋白質をバイテク育種につなげることにより、耐虫性の豆類が育成されることになろう。また、加熱しなくても豆の青臭さを除くことが可能であれば、大豆の用途拡大に大いに役立つ。この青臭さの

原因物質を作る酵素リポキシゲナーゼには、3つの遺伝子が関与しており、これまでにその2つを欠失する系統は育成してきたが、これでは完全に青臭さを除去することはできなかった。しかし平成2年には遂に、3遺伝子をすべて劣性でもつ（電気泳動像でリポキシゲナーゼの3本のバンドをすべて欠失する）ものを、突然変異種で選抜することに成功した（第1図）のは大きな成果である。



第1図 ダイズ種子リポキシゲナーゼのSDS-PAGE分析

- 1: リポ全欠種子
- 2: 関東101号 (L-2, L-3欠)
- 3: 関東102号 (L-1, L-3欠)
- 4: スズユタカ

#### 生産環境管理研究の成果から

病害虫防除の分野では麦類を対象にした研究で、元年度の赤かび病菌の種類と分布、2年度の縞萎縮病ウィルスゲノムの全塩基配列の解明をまず挙げたい。赤かび病菌は人畜に有害なマイコトキシンを生産するため、麦作の重要病害となっているが、全国から集めたフザリウム菌の273菌株を小麦穂に接種して、新たに病原性

のある種や系統をいくつか発見し、13に分けたグループの反応型と全国の分布状況を明らかにした。縞萎縮病の研究では、ウィルスゲノムのcDNAライブラリーを作り、塩基数7,632のRNA-1と塩基数3,585のRNA-2のアミノ酸配列を決定し、いくつかの領域の機能を明らかにしたものである。今後、水稻の縞葉枯病抵抗性の例のように、ウィルスDNAを組み入れた抵抗性系統の育成につながるものと期待される。

ウィルス研究ではまた、多くのウリ類に発生するカボチャモザイクウィルスについて、紫外線照射や亜硝酸ナトリウムによる処理と選抜をくりかえして弱毒株を作出した。このウィルスによるモザイク病に対しては、従来実用的な抵抗性品種がなかったので、媒介虫アブラムシの防除にたよっていたが、ここで得た弱毒株は強毒ウィルスに対して強い干渉効果を示し、しかも11種のウリ類に試した結果では、カボチャ類とスイカで上葉に軽い病斑を示しただけなので、幼苗期の接種によるモザイク病の発生予防に期待がもてる。

プロジェクト研究チームでは、ランドサットTMデータを用いてキャベツ根こぶ病の発生圃場を高精度で検出する技術、コスモス衛星写真で土壌特性と根こぶ病発生危険地帯を推定する技術を確認した。

畑作土壌管理技術の中では、これまでに黒ボク土地帯の小麦の収量・品質を向上させるためのN、Pの肥沃度管理技術を確認したことは、大きな成果である。平成2年度には、土壌中の蛍光性シュードモナス菌数や糸状菌フロラの構成などが、野菜（チンゲンサイ）畑の塩類集積の診断指標として有効であることを確認した。この方法では、収量低下を起こさずに収穫物の

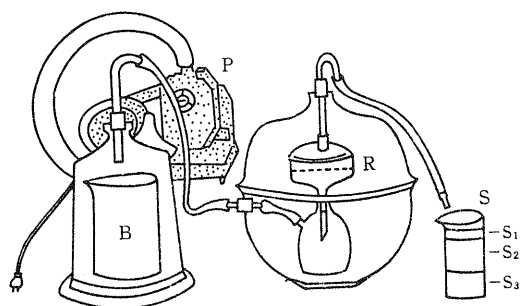
乾物率の低下や根量の減少をきたすような程度のやや軽い塩類集積をも検出できる有効なものであるという。

雑草防除関係も主要研究問題Ⅱの中に位置づけられている。これについてはやや詳しく紹介したい。まず平成元年の成果から。

効果的な雑草防除法を計画するためには、確度の高い発生予測技術の開発が求められる。このため、土壤中に埋もれている雑草種子の種類、量、活力を調べるべく、必要なサンプル数、採土コアの大きさ、雑草種子の回収法を検討した。一年生畑夏雑草については、採土コアの大きさは直径8cm、高さ4cmの円筒コアとし、1筆当たり最少サンプル数は13と推定した。

採取した土壌から雑草種子を回収するには(第2図)、500ml ビーカー(S)に入れた200mlの土に300mlの炭酸カリ50%液を加えて攪拌し、浮き上がった雑草種子を含む有機物(S<sub>1</sub>)を真空ポンプ(P)で吸い取り、濾過、洗浄する。この装置は大部分は半自動的に動くようになっており、2人1組でサンプル1点当たり3〜5分で処理できる。

この後、種子押しつぶし法を中心とする活力



第2図 土壌中雑草種子分離回収装置

雑草種子を含む有機物層(S<sub>1</sub>)、炭酸カリ層(S<sub>2</sub>)を吸い取り、ブフナーロート(R)の0.3mm角の目のナイロンフィルターで濾過し、雑草種子を含む有機物を回収する。濾過された炭酸カリ溶液は最終的に2lビーカー(B)にたまる(再利用可能)。S<sub>3</sub>は土壌残さ。

検査を行い、対象圃場での年間出芽本数を

$$y = T / (P / H) (1 + 0.5) A \cdot x$$

で推定する。Tは圃場の広さ(m<sup>2</sup>)、P、Hはコアの表面積(m<sup>2</sup>)と高さ(cm)で、xは耕起直後土壌中の種子の活力、Aは実験的に求められる定数である。以下詳細は文献を参照されたい。

昭和59年から続けてきたスギナの発生生態の研究を、平成元年度でとりまとめた。除草剤は旧塊茎までは死滅させ得ないが、地下部繁殖器官の形成が開始する以前に処理すれば、増殖抑制に有効である、などの知見を得た。

平成2年度も雑草関係の成果情報は賑やかであった。

水稻の乾田直播栽培の成否は雑草防除が鍵であることから、5月中旬、6月中旬の2作期に、播種後4週間にわたり、草種別、出芽深度別に雑草の発生本数を調査した。5月播種では第4週までだらだらと発生があったのに対し、6月播種では大部分が第1週に発芽した。また、メヒシバは30mmを越える深度まで広く分布するのに対し、コゴメガヤツリやスベリヒユの出芽深度は浅く、その変異は比較的小さかった。このことは、土壌処理除草剤の効果を測る上で考慮すべき情報であろう。一方、生育する雑草の草丈は著しく変異が大きく、茎葉処理除草剤の効果を低下させる要因と見られた。

農業研究センター谷和原水田圃場で、1987年から転換畑とし、大豆-小麦の不耕起栽培を行って、雑草の発生生態を調査した。1990年まで、連続耕起区では雑草の全科数・全草種数とも減少傾向が明らかであったのに、連続不耕起区では逆に増加が見られ、特にキク科の発生が多かった。土壌深度別にみた草種別種子数では、不耕起区でメヒシバ・イヌビユ・ノミノフスマな

どが浅層(0~4 cm)に多く分布した。麦の不耕起栽培には播種後土壌処理剤ペンディメタリンの粒剤が効果的であり、大豆不耕起栽培では、播種前茎葉処理剤(グルフォシネートなど)や播種後土壌処理剤(プロメトリン・メトラクロールなど)の単用では不十分で、これら薬剤の体系処理や混用が有効であった。今後の除草剤の開発において、大豆不耕起栽培のための生育期茎葉処理剤として、広葉雑草を対象にするものを検討する必要があるのではなかろうか。

畑の大型強害雑草シロザは、その種子が強い休眠性をもつために、防除がむずかしい。そこで、北海道から九州までの各地から10系統の種子を集めて、その系統間の発芽特性の比較を行った。休眠は福島市産のシロザが最も強く、つくば市産のものは10系統の中で最も弱かった。しかし、この両者の間には、種皮に傷付け処理をしたときの発芽率や吸水経過・吸水力には差がみられず、発芽時の酸素要求量に差がみられた。発芽抑制物質の存在は確認できなかった。

## おわりに

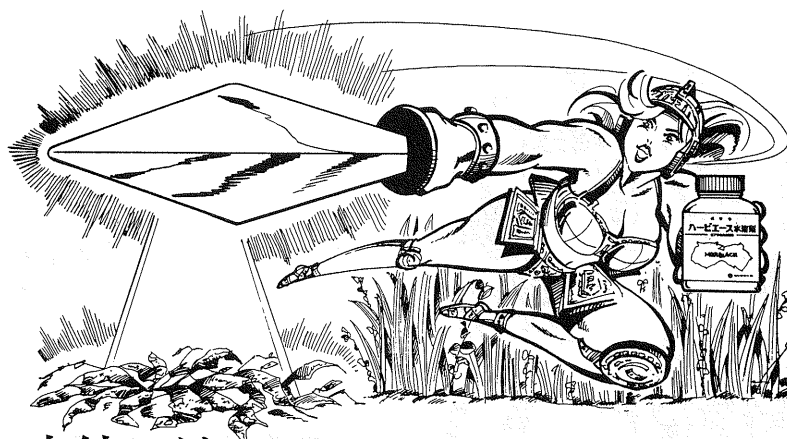
研究基本計画の第3の柱は、高生産性作業技術の確立である。平成2年度の成果の中に、部分耕同時田植機の開発がある。これは田植前の耕起・代かきを省略して、圃場に入水し、直ちに移植部分にあたる10cm幅のみを耕起し、同時に、そのまま機械移植・側条施肥を行うものであるが、5カ所の現地試験のいずれも、慣行移植法と比べて収量は同等であった。この作業体系では、麦跡では一般に除草は必要ないが、

冬期間に雑草が繁茂した圃場では、田植前に除草剤を散布して、あらかじめ草を枯らしておく必要があるほかに、稲作期間の除草技術にも、新たなものが求められることになるかも知れない。

研究の紹介は以上にとどめておくと、昨年早々に改められた農林水産研究基本目標に対応して、農業研究センターでも、試験研究の重点的方向を5本柱に整理した。それらのテーマはまだ最終的に確定したものではないので、ここには記さないが、作物品種・栽培生理の部門は、消費ニーズ対応・高品質化を強く意識した研究体制に組み換えられることになっており、また資源作物の開発・利用に関する研究が強化される。生産環境管理技術の面では、生態系を守り、高品質で安全性の高い作物の安定持続型生産を図ることに力点がおかれることになろう。現在の耕地利用部と機械作業部の課題は、生産資源の適正管理と生産性向上を共通の目標として、1本の柱にまとめられる。

このほかに平成3年度の大きな変革として予定されているものは、研究技術情報部門の大幅な強化で、各地域農業試験場に研究技術情報科、各専門場所に研究技術情報官が新設されるのに合わせて、農業研究センターには部が設けられ、中央研究技術情報センターとして機能することになる。またバイオテクノロジー分野の大きな目玉プロジェクトであるイネゲノム研究に関係して、農業研究センターの稲育種研究グループもその一翼を担う予定であり、いわゆる先端技術研究の波をまともに受けて、わがセンターの研究陣はますます忙しくなりそうである。

(1991.2.3)



Meiji



自然には、  
自然から生まれたバイオ除草剤

りんご、なし園の下草防除によるハタニ類の防除に適用拡大/

# 明治ハービエース水溶剤

果樹園、野菜畑、桑園、非農耕地に/

明治製薬株式会社

- 確かな効きめです。
- 効きめが速く、長続きします。
- 土壌を汚染しません。
- 果樹等の根元まで除草できます。
- より高い安全性を追求しました。
- 新製剤——顆粒状水溶剤です。



## 水田除草に一発解答。

効きめに、安全性に、  
実績が光るフジグラス。



初・中期一発処理除草剤

**フジグラス® 粒剤**

®：「フジグラス」は登録商標です。

●フジグラス粒剤の特長

- ① 幅広い雑草にすぐれた効果を示します。
- ② 多年生の難防除雑草にもよく効きます。
- ③ 処理適期幅が広く、散布に余裕がもてます。
- ④ 抑草期間が長く、一発処理ができます。
- ⑤ 水稲に安全性が高く、安心して使えます。

●使用薬量

10アール当たり 3kg。

●使用適期

田植後5日～15日(ノビエ2.5葉期)が使用時期ですが、ノビエ2葉期の処理がもっともすぐれた効果を発揮します。



フジグラス普及会

日本農薬株式会社 デュポン ジャパン リミテッド

アイ・シー・アイ・ジャパン株式会社

事務局：日本農薬株式会社 東京都中央区日本橋1丁目2番



水田除草、新時代。



# ひと足伸びた 馬力の一発。

シンザン粒剤は、処理適期幅が広く、農作業上極めて便利です。省力化の時代に応じて、今ここに新しいタイプの初中期一発処理除草剤の誕生です。

水田初中期一発処理除草剤

**SINZAN 粒剤**

® 住友化学工業株式会社・日本特殊農薬製造株式会社・三井東圧化学株式会社の共有登録商標

〈シンザン普及会〉  
 塩野義製薬／八洲化学工業／アグロス／  
 日本特殊農薬製造／住友化学工業／  
 (事務局)  
 三井東圧化学株式会社  
 東京都千代田区霞が関3-2-5

# 選んでください、このボトル。



新しい除草の時代を実現するバスタ。広く効き、速く効き、長く効く。さらに安全性が高く、使いやすい除草剤として、登場。果樹園、野菜畑、水田畦畔、農道、家まわりなど広範囲の場面に、このボトル。選んでみてください。

除草剤、選ぶなら。

**バスタ 液剤**

® 西独 ヘキスト社の登録商標

**特長**

- 生育中のあらゆる雑草に優れた効果を示します。
- 効果の発現は早く、2～5日で効果が確認できます。
- 多年生雑草の再生を長期間抑えます。
- 果樹や桑の株元まで安心して除草できます。
- 安全性が高く、安心して使える除草剤です。
- 適用範囲が広いので幅広い分野で使用できます。

**バスタ普及会**

石原産業株式会社／日本農薬株式会社／日産化学工業株式会社  
 (事務局)ヘキストジャパン株式会社 農薬本部  
 〒107 東京都港区赤坂4-10-33 ☎03(584)7521ℎ

**Hoechst** 

# 平成 2 年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 2 年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成 2 年 12 月 13～14 日の 2 日間、植調会館会議室において開催された。なお、適 1 試験は中央検討会に先がけ、平成 2 年 10 月 12 日植調会館にて開催された。これらの結果の概要を報告する。

## 1) 第 1 次適用性試験 (適 1) 試験について

平成 2 年度の適 1 試験は、北海道地域 (植調北海道試験地)、東北地域 (植調古川試験地)、北陸地域 (植調新潟第 1 試験地)、関東地域 (植調研究所)、近畿地域 (植調滋賀試験地)、中国地域 (植調広島試験地)、九州地域 (植調佐賀試験地) の全国 7 地域で 33 薬剤 (のべ 192 点) について実施した。その判定結果は、第 1 表のとおりである。

## 2) 第 2 次適用性試験 (適 2) 試験について

平成 2 年度の適 2 試験は、次のような試験区

分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理 (Ⅱ-1, 3 剤 31 点), 移植前後土壌処理 (Ⅱ-2, 4 剤 26 点), 移植後土壌処理 (Ⅱ-3, 8 剤 105 点), 茎葉兼土壌処理 (Ⅱ-4, 1 剤 13 点), 適用時期拡大 (Ⅱ-5, 10 剤 116 点), 特殊雑草防除 (Ⅱ-6, のべ 96 剤 324 点), 湛水直播栽培用 (Ⅲ-1, 7 剤 44 点), 乾田直播栽培用 (Ⅲ-2, 2 剤 6 点), 畦畔雑草用 (Ⅳ, 4 剤 34 点), 耕起前雑草用 (Ⅴ, 2 剤 18 点), 初期一発処理剤 (Ⅶ-1, 34 剤 433 点), 初・中期一発処理剤 (Ⅶ-2, 21 剤 295 点), 長期持続型一発処理剤 (Ⅶ-3, 9 剤 67 点), 少量散布 (Ⅷ, 8 剤 38 点) の総のべ点数が 1,549 点であった。これら適 2 試験の判定結果は第 2 表, 実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第 3 表のとおりである。

第 1 表 平成 2 年度水稻作関係除草剤適 1 試験成績判定結果一覧表

| No. | 薬 剤 名 ・ 剤 型<br>( 委 託 者 名 )     | 有効成分および<br>含有率 (%) | 試験実施場所別総合評価 |        |        |        |        |        |        | 中 央 判 定 結 果<br>〔 今 後 の 課 題 点 等 〕                                      |
|-----|--------------------------------|--------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------------------------------------------------------------|
|     |                                |                    | 北<br>海<br>道 | 東<br>北 | 北<br>陸 | 関<br>東 | 近<br>畿 | 中<br>国 | 九<br>州 |                                                                       |
| 1.  | CG-113 乳<br>〔 日本チバガイギー 〕       | プレチラクロール 12        | ○           | ◎      | ○      | ○      | ○      | ◎      | ○      | 全域○植代時土壌混和处理 (従来剤と同等の効果)                                              |
| 2   | DJL-247 粒<br>〔 デュボンジャパンリミテッド 〕 | 未公開 3.6            | □           | ◎      | ◎      | ○      | □      | ○      | ○      | 寒冷地～暖地○ノビエ 2.5 L まで<br>( 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ )<br>〔 寒地薬害の検討 〕 |

| No. | 薬 剤 名 ・ 剤 型<br>〔 委 託 者 名 〕           | 有効成分および<br>含有率 (%)                              | 試験実施場所別総合評価 |        |        |        |        |        |        | 中 央 判 定 結 果<br>〔 今 後 の 課 題 点 等 〕                                            |
|-----|--------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------------------------------------------------------------------|
|     |                                      |                                                 | 北<br>海<br>道 | 東<br>北 | 北<br>陸 | 関<br>東 | 近<br>畿 | 中<br>国 | 九<br>州 |                                                                             |
| 3   | DJL-248 粒<br>〔デュポンジャパンリミ<br>テッド〕     | 未公開 0.5                                         | □           | ◎      | ◎      | ○      | □      | □      | ○      | 寒冷地～暖地○ノビエ1.5 Lまで<br>(一年生雑草・マツバイ・ホタル<br>イ・ウリカワ・ミズガヤツリ)<br>〔寒地薬害の検討〕         |
| 4   | DJL-367 粒<br>〔デュポンジャパンリミ<br>テッド〕     | 未公開 3.64                                        | ○           | ◎      | ◎      | ○      | △      | □      | ○      | 寒地～温暖地東部○ノビエ2.5 L<br>まで(一年生雑草・マツバイ・ホ<br>タルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ)<br>温暖地西部以西□〔薬害の検討〕 |
| 5   | DJL-368 粒<br>〔デュポンジャパンリミ<br>テッド〕     | 未公開 0.54                                        | ○           | ○      | ◎      | ○      | △      | □      | □      | 寒地～温暖地東部○ノビエ1.5 L<br>まで(一年生雑草・マツバイ・ホ<br>タルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ)<br>温暖地西部以西□〔薬害の検討〕 |
| 6   | DLH-691 粒<br>〔ダイセル化学工業〕              | DLH-066(未) 0.9<br>未公開(既知) 4<br>未公開(既知) 1        | ○           | ○      | □      | □      | □      | □      | □      | 寒地・寒冷地北部○ノビエ1 Lま<br>で(一年生雑草・マツバイ・ホタ<br>ルイ)<br>寒冷地南部以西□〔効果・薬害の<br>検討〕        |
| 7   | DPX-84BM25 <sup>®</sup> 粒<br>〔三菱油化〕  | キンクロラック 1.0<br>ジメピペレート 5.0<br>ベンスルフロメチル<br>0.25 | ○           | ◎      |        | ○      |        |        |        | 寒地～寒冷地○ノビエ2.5 Lまで<br>(一年生雑草・マツバイ・ホタル<br>イ・ウリカワ・ミズガヤツリ)                      |
| 8   | DPX-84BM17 <sup>®</sup> 粒<br>〔三菱油化〕  | キンクロラック 1.0<br>ジメピペレート 5.0<br>ベンスルフロメチル<br>0.17 |             |        | ○      | ○      | ◎      | ○      | □      | 寒冷地南部以西○ノビエ2.5 Lま<br>で(一年生雑草・マツバイ・ホタ<br>ルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ)                     |
| 9   | KH-251B 粒<br>〔アグロカネショウ〕              | KH-218 1.5<br>ベンスルフロメチル<br>0.25<br>キンクロラック 1.0  | ◎           | ◎      |        |        |        |        |        | 寒地・寒冷地◎ノビエ2.5 Lまで<br>(一年生雑草・マツバイ・ホタル<br>イ・ウリカワ・ミズガヤツリ)                      |
| 10  | KH-251B <sup>①</sup> 粒<br>〔アグロカネショウ〕 | KH-218 1.5<br>ベンスルフロメチル<br>0.17<br>キンクロラック 1.0  |             |        | ○      | ○      | ◎      | ○      | □      | 寒冷地南部以西○ノビエ2.5 L<br>まで(一年生雑草・マツバイ・ホ<br>タルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ)                     |
| 11  | KPP-314 フロアブル<br>〔科研製薬〕              | 未公開(新規) 9.0                                     | ○           | ○      | ○      | ○      | □      | □      | □      | 全域○雑草発生前(一年生雑草)<br>〔マツバイ・ホタルイ等に有効な<br>剤との混合剤化〕                              |
| 12  | KPP-2005 粒<br>〔科研製薬〕                 | 未公開(新規) 1.5<br>未公開(既知) 5                        | ◎           | ○      | ○      | ○      | ○      | ○      | □      | 全域○雑草発生前(一年生雑草・<br>マツバイ・ホタルイ)                                               |
| 13  | KPP-2005 フロアブル<br>〔科研製薬〕             | 未公開(新規) 4.5<br>未公開(既知) 12.0                     | ○           | ◎      | ○      | ○      | ○      | ◎      | ○      | 全域○雑草発生前(一年生雑草・<br>マツバイ・ホタルイ)                                               |

| No. | 薬 剤 名 ・ 剤 型<br>〔 委 託 者 名 〕                | 有効成分および<br>含有率 (%)                             | 試験実施場所別総合評価 |        |        |        |        |        |        | 中 央 判 定 結 果<br>〔 今 後 の 課 題 点 等 〕                                          |
|-----|-------------------------------------------|------------------------------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------------------------------------------------------------|
|     |                                           |                                                | 北<br>海<br>道 | 東<br>北 | 北<br>陸 | 関<br>東 | 近<br>畿 | 中<br>国 | 九<br>州 |                                                                           |
| 14  | MK-241 粒<br>〔 三 菱 化 成 〕                   | 未公開（新規） 0.9                                    | □           | ○      | ×      | □      | △      | □      | ◎      | 全域〔効果の変動要因の解明〕                                                            |
| 15  | NC-311BK 粒<br>〔 日 産 化 学 工 業 〕             | ピラゾスルフロンエチル 0.1<br>キンクロラック 0.9<br>未公開 1.5      | ○           | ◎      | ◎      | ◎      | ◎      | ◎      | □      | 全域○ノビエ 2.5 L まで（一年生<br>雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリ<br>カワ・ミズガヤツリ）<br>〔 暖 地 の 薬 害 検 討 〕 |
| 16  | NC-311NS 粒<br>〔 日 産 * ・ 日 本 シ ャ ー リ ン グ 〕 | ピラゾスルフロンエチル 0.1<br>NS-112 1.5                  | □           | ◎      | ◎      | ○      | ○      | □      | ○      | 全域○ノビエ 1.5 L まで（一年生<br>雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリ<br>カワ・ミズガヤツリ）<br>〔 薬 害 の 検 討 〕     |
| 17  | NH-728① 粒<br>〔 日 本 農 薬 〕                  | ペンシルフロンメチル 0.17<br>エスプロカルブ 5.0<br>MON-72 0.3   |             |        |        | ○      | ○      | ◎      | ○      | 寒冷地南部以西○ノビエ 2.5 L まで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）                         |
| 18  | NS-177 粒<br>〔 日 本 シ ャ ー リ ン グ 〕           | NS-112 2<br>シメトリン 1.5<br>MCPB 0.8              | □           | ○      | △      | □      | □      | □      | △      | 全域□〔効果・薬害の検討〕                                                             |
| 19  | NSK-850D フロアブル<br>〔 徳 山 曹 達 〕             | NSK850 2.5<br>ペンシルフロンメチル 0.75                  | ○           | ◎      |        |        |        |        |        | 寒地・寒冷地北部○ノビエ 1.5 L まで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）                        |
| 20  | NSK-850D① フロアブル<br>〔 徳 山 曹 達 〕            | NSK-850 2.5<br>ペンシルフロンメチル 0.5                  |             |        |        | ○      | ○      | ○      | ○      | 寒冷地南部以西○ノビエ 2 L まで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）<br>〔 薬 害 の 検 討 〕          |
| 21  | NSK-850DB 粒<br>〔 徳 山 曹 達 〕                | NSK-850 0.9<br>ペンシルフロンメチル 0.25<br>キンクロラック 1.0  | ○           | ◎      |        |        |        |        |        | 寒地・寒冷地北部○ノビエ 2.5 L まで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）                        |
| 22  | NSK-850DB① 粒<br>〔 徳 山 曹 達 〕               | NSK-850 0.9<br>ペンシルフロンメチル 0.17<br>キンクロラック 1.0  |             |        |        | ○      | ○      | ○      | ○      | 寒冷地南部以西○ノビエ 2.5 L まで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）                         |
| 23  | NSK-850DB①① 粒<br>〔 徳 山 曹 達 〕              | NSK-850 0.75<br>ペンシルフロンメチル 0.17<br>キンクロラック 1.0 |             |        |        | ○      | ○      | ○      | ○      | 寒冷地南部以西○ノビエ 2.5 L まで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）                         |

|    | 薬 剤 名 ・ 剤 型<br>〔 委 託 者 名 〕           | 有効成分および<br>含有率 (%)                                      | 試験実施場所別総合評価 |        |        |        |        |        |        | 中 央 判 定 結 果<br>〔 今 後 の 課 題 点 等 〕                                    |
|----|--------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------------------------------------------------------|
|    |                                      |                                                         | 北<br>海<br>道 | 東<br>北 | 北<br>陸 | 関<br>東 | 近<br>畿 | 中<br>国 | 九<br>州 |                                                                     |
| 24 | NTN-901 粒<br>〔 日本特殊農薬製造 〕            | 未公開（新規） 0.8                                             | ○           | ○      | ○      | □      | □      | □      | ○      | 全域□〔混合剤化の検討（ノビエ2.5Lまで有効）〕                                           |
| 25 | RSM-901 粒<br>〔 三菱油化 〕                | 未公開（3種） 9.0                                             | ○           | ○      | □      | ○      | △      | □      | □      | 全域□〔効果・薬害の検討〕                                                       |
| 26 | SL-920 粒<br><br>〔 石原産業 〕             | ピラゾキシフェン 5.0<br>未公開（既知） 1.5<br>ACN 3.0                  | ○           | ○      | ○      | ◎      | □      | □      | □      | 温暖地東部以北○ノビエ2Lまで<br>（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）<br>温暖地西部以西□〔薬害の検討〕 |
| 27 | SL-928 粒<br><br>〔 石原産業 〕             | ピラゾキシフェン 6.0<br>未公開（既知） 1.5<br>未公開（既知） 1.5              | ○           | ○      | ○      | ◎      | △      | △      | ○      | 温暖地東部以北○ノビエ2Lまで<br>（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）<br>温暖地西部以西□〔薬害の検討〕 |
| 28 | SL-970 フロアブル<br><br>〔 SL-49研（石原）*他 〕 | ピラゾキシフェン 15<br>プロモブチド 10<br>NSK-850 2                   | ○           | ◎      | ○      | ◎      | □      | ○      | ○      | 全域○ノビエ2Lまで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。但し、ミズガヤツリ多発田では早目に使用）         |
| 29 | SW-907 粒<br><br>〔 三共 〕               | NS-112 1.0<br>ピラゾレート 4.0<br>プレチラクロール 1.5<br>ジメタメトリン 0.2 |             | ○      | ○      | ◎      | △      | △      | ○      | 寒冷地～温暖地東部○ノビエ2Lまで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）<br>温暖地西部以西□〔薬害の検討〕   |
| 30 | SW-907㊸ 粒<br><br>〔 三共 〕              | NS-112 1.5<br>ピラゾレート 8.0<br>プレチラクロール 1.5<br>ジメタメトリン 0.2 | △           | ○      |        |        |        |        |        | 寒冷地以北□〔薬害の検討〕                                                       |
| 31 | SW-908 粒<br><br>〔 三共 〕               | 未公開（3種混合）<br>計 6.5                                      | ○           | ○      | ○      | ◎      | □      | □      | □      | 温暖地東部以北○ノビエ2Lまで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）<br>温暖地西部以西□〔薬害の検討〕     |
| 32 | CH-901 粒<br>〔 中外製薬 〕                 | 未公開（新規） 1.0<br>未公開（既知） 2.0                              |             | ○      | □      | □      | □      | □      | ○      | 全域○ノビエ2.5Lまで（一年生雑草・マツバイ）                                            |
| 33 | NCH-902 粒<br><br>〔 中外製薬 〕            | 未公開（新規） 1.0<br>未公開（既知） 2.0<br>未公開（既知） 0.07              |             | ◎      | ◎      | ○      | ○      | ○      | ○      | 全域○ノビエ2.5Lまで（一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ）                           |

注）上記判定欄の記号については、◎；極めて有望，○；有望，□；可能性あり，△；再検討，×；見込なし，を表わす。

第2表 平成2年度水稻作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧表

| 区 分      | 判定        | 実 | 実・継                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 継                                                                                          | 継? | 中止 |
|----------|-----------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|
| II-1.    | 移植前土壌混和処理 |   | CG-113乳, TCG-128乳.                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | KPP-314乳.                                                                                  |    |    |
| II-2.    | 移植前後土壌処理  |   | CG-113粒, MO-338粒, MTS-1粒, (追加)YH-3粒.                                                                                                                                                                                                                                                                                     | KPP-314粒.                                                                                  |    |    |
| II-3.    | 移植後土壌処理   |   | CG-155B①粒, JC-940粒, KH-218粒, <u>NSK-852粒</u> , SL-652粒, SUM-72粒, TSJ-756粒, (追加)DPX-84M粒, (追加)DPX-84M①粒.                                                                                                                                                                                                                  | NC-311NS粒.                                                                                 |    |    |
| II-4.    | 茎葉兼土壌処理   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | NS-177粒.                                                                                   |    |    |
| II-5.    | 適用時期拡大    |   | BAS-3510(Na)粒, BAS-3510(Na)①液, <u>BAS-514水和</u> , BAS-521粒, BAS-521水和, <u>CG-155B①粒</u> , NC-311粒, <u>TH-913①粒</u> , (追加)DPX-84粒, (追加)DPX-84①粒, (追加)DPX-84M粒, (追加)DPX-84M①粒.                                                                                                                                             | NC-311NS粒, NS-177粒.                                                                        |    |    |
| II-6-(1) | クログワイ対象   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | NS-177粒.                                                                                   |    |    |
|          |           |   | <u>DM-72B①粒</u> , <u>KUH-883粒</u> .<br>(但し, 連年施用については継続検討)                                                                                                                                                                                                                                                               | (連年施用について継続検討)<br>JC-940粒, KUH-883①粒, NC-311NS粒, NC311SC粒, NJM-754粒, TH-913BA粒, TH-913BS粒. |    |    |
|          |           |   | BAS-521水和, <u>DM-72B粒</u> , <u>DM-72BD①粒</u> , DPX-84B粒, DPX-84B①粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG①粒, DPX-84M粒, DPX-84M①粒, DPX-84SC粒, DPX-84SC①粒, DPX-84T粒, DPX-84TD①粒, NC-311B①粒, NC-311BCG粒, <u>NC-311BS粒</u> , <u>NC-311CG粒</u> , <u>NC-311CG①粒</u> , NC-311R粒, NC-311T粒, NCM-72粒, NS-112粒, TSJ-756粒, YH-3粒.<br>(連年施用についても「実・継」) |                                                                                            |    |    |
|          |           |   | BAS-3510(Na)①液, DPX-84粒(前年通り), DPX-84①粒(前年通り).<br>(連年施用についても徹底防除に用いる剤として「実・継」)                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                            |    |    |
| II-6-(2) | オモダカ対象    |   | DPX-84B①粒(前年通り), <u>KUH-833粒</u> , <u>KUH-883①粒</u> .                                                                                                                                                                                                                                                                    | NS-177粒.                                                                                   |    |    |
|          |           |   | <u>DM-72B粒</u> , <u>DM-72B①粒</u> , <u>NC-311SC粒</u> .<br>(但し, 連年施用については継続検討)                                                                                                                                                                                                                                             | (連年施用について継続検討)<br>DM-72BD①粒.                                                               |    |    |
|          |           |   | <u>DPX-84①粒</u> , <u>DPX-84TD①粒</u> , <u>NC-311粒</u> , <u>NC-311B①粒</u> ,                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                            |    |    |

| 判定<br>区分                      | 実 | 実・継                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 継                                                                                                               | 継? | 中止 |
|-------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|
| II-6-(2) オモダカ対象<br>(つづき)      |   | NC-311BCG粒, NC-311BS粒,<br>NC-311CG粒, NC-311CGⒶ粒,<br>NC-311R粒(前年通り),<br>NC-311T粒, NCM-72粒,<br>(連年施用についても「実・継」)                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                 |    |    |
| II-6-(3) セリ対象                 |   | DPX-84Ⓐ粒, KUH-883粒,<br>KUH-883Ⓐ粒, NC-311BCG<br>粒.                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                 |    |    |
| II-6-(4) ヒルムシロ<br>対象          |   | KUH-883Ⓐ粒, NC-311粒,<br>NC-311R粒.                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                 |    |    |
| II-6-(5) シズイ対象                |   | NC-311BⒶ粒, NC-311SC粒,<br>NC-311T粒, NCM-72粒,<br>YH-3粒.                                                                                                                                                                                                                                                            | CG-155BⒶ粒, NS-177粒,<br>TH-913BA粒, TH-913BS粒.                                                                    |    |    |
| II-6-(6) エゾサヤヌ<br>カグサ対象       |   | CG-155BⒶ粒, KUH-883粒,<br>NC-311BⒶ粒, NC-311SC<br>粒, NCM-72粒, TH-913BA<br>粒, TH-913BS粒.                                                                                                                                                                                                                             | DM-72B粒, NS-177粒,<br>SW-907Ⓐ粒.                                                                                  |    |    |
| II-6-(7) クサネム対<br>象           |   | BAS-3510(Na)Ⓐ液, NC-<br>311粒, NC-311CG粒, NC-<br>311R粒.                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                 |    |    |
| II-6-(8) コウキヤガ<br>ラ対象         |   | KUH-883Ⓐ粒, NC-311R粒.<br><br>NC-311BCG粒, NC-311BS<br>粒, NC-311T粒.<br>(連用施用についても「実・継」)                                                                                                                                                                                                                             | BAS-521水和.<br><br>(連年施用について継続検討)<br>NC-311BⒶ粒, NC-311CG粒.                                                       |    |    |
| II-6-(9) キシュウス<br>ズメノヒエ<br>対象 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | NS-177粒.                                                                                                        |    |    |
| III-1. 湛水直播                   |   | DPX-84M粒, DPX-84MⒶ粒.                                                                                                                                                                                                                                                                                             | BAS-521粒, BAS-521水和,<br>NC-311BⒶ粒, NC-311BS粒,<br>NC-311H粒.                                                      |    |    |
| III-2. 乾田直播                   |   | KUH-883Ⓐ粒.                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | BAS-521水和.                                                                                                      |    |    |
| IV. 畦畔雑草                      |   | DCMUフロアブル, Hoe-86610<br>液, MW-851液, SC-224液.                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                 |    |    |
| V. 耕起前                        |   | Hoe-86610液, MW-851液.                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                 |    |    |
| VII-1. 初期一発処理剤                |   | DM-72粒, DM-72Ⓐ粒, DPX<br>84BM25粒, DPX-84BM17粒,<br>DPX-84CG粒, DPX-84CGⒶ<br>粒, DPX-84M粒, DPX-84SK<br>HⒶ粒, KH-249Ⓐ粒, KUH-<br>883粒, KUH-883Ⓐ粒, MT-<br>032粒, NC-311CG粒, NC-<br>311CGⒶ粒, NC-311CG-D<br>粒, NCM-72粒, NJM-754粒,<br>NSK-850D粒, NSK-850DⒶ<br>粒, PSSⒶ粒, SKH-8602Ⓐ<br>粒, SPM-344粒, TJM-354<br>粒, TSM-612フロアブル. | HSW-902粒, KH-255粒,<br>KH-255Ⓐ粒, NC-311H粒,<br>RSM-901粒, SL-920粒,<br>SL-970フロアブル, SW-665<br>粒, SW-907粒, SW-907Ⓐ粒. |    |    |

| 区 分     | 判 定        | 実 | 実 ・ 継                                                                                                                                                                                                                                         | 継                           | 継 ? | 中止 |
|---------|------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----|----|
| VII-2.  | 初・中期一発処理剤  |   | DM-72B①粒, DM-72BD①粒, DPX-84B①粒, DPX-84SC粒, DPX-84T粒, DPX-84TD①粒, NC-311B①粒, NC-311BCG粒, NC-311BCG-D粒, NC-311BS粒, NC-311R粒, NC-311SC粒, NC-311SC①粒, NC-311T粒, NC-311T①粒, NC-326粒, NTN-831粒, TH-913BA粒, TH-913BS粒, (追加)DPX-84B粒, (追加)DPX-84SC①粒. | DPX-84BM25①粒, DPX-84BM17①粒. |     |    |
| VII-3.  | 長期持続型一発処理剤 |   | DM-72B粒, KUH-891粒, KUH-891①粒, NC-311BCG①粒, NC-311SC粒, NC-326粒, NH-728粒, TH-913BSM粒.                                                                                                                                                           | NH-728①粒.                   |     |    |
| VIII-1. | 少量散布法      |   | DPX-84B粒, NC-311B①粒, NC-311CG粒, NC-311R粒.                                                                                                                                                                                                     | SW-665粒.                    |     |    |
| VIII-2. | 少量散布       |   | CG-113粒, MTS-1粒, YH-3粒.                                                                                                                                                                                                                       |                             |     |    |

注: 1) 本年度新規に使用基準の作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2) 本年度は「継?」および「中止」と判定された薬剤はなかった。

第3表 平成2年度水稻関係除草剤使用基準一覧表

| 区分                 | 薬 剤 名                 | 処理     | 適用地域                              | 適用草種                                                                  | 処理時期     | 使用量    | 適用土壌                                                                     | 使用上の注意                            |
|--------------------|-----------------------|--------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------|--------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| II-1.<br>移植前土壌混和処理 | ① <u>CG-113</u><br>乳  | 土壌混和処理 | 全域の早期・普通期。<br>〔但し、温暖地東部早期、暖地を除く。〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ミズガヤツリは温暖地西部のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。〕 | 植代時(〜4)。 | 50ml/a | 壤土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む。温暖地西部は(1cm/日以下)。〕            | (1) 混和時の水深3〜5cm。<br>(2) 混和深2〜3cm。 |
|                    | ② <u>TCG-128</u><br>乳 | 土壌混和処理 | 寒地・温暖地西部の早期・普通期。                  | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地のみ。〕      | 植代時(〜4)。 | 50ml/a | 壤土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地西部早期は埴土〜埴土(1cm/日以下)。温暖地西部普通期は砂壤土〜埴土(1cm/日以下)。〕 | (1) 混和時の水深3〜5cm。<br>(2) 混和深2〜3cm。 |

| 区分                | 薬剤名                                              | 処理   | 適用地域       | 適用草種                                                                                                                      | 処理時期                                                                                                                                                 | 使用量                                          | 適用土壌                                                                                             | 使用上の注意                                                                                                                                                               |
|-------------------|--------------------------------------------------|------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| II-2.<br>移植前後土壌処理 | ① CG-113 粒<br>(ソルネット)                            | 土壌処理 | 全域の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは温暖地東部以北。〕                                                       | -7~-4, +0~+10 (ノビエ 1.5 L まで)<br>〔但し、寒地は-5~+10. 温暖地西部早期は-4, +0~+10. 暖地早期は+0~ノビエ 1.5 L まで。暖地普通期は-4, +0~+7. ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。〕                 | 300 g/a                                      | 砂壤土~埴土 (2 cm/日以下).<br>〔但し、砂壤土は寒冷地南部・温暖地東部普通期・暖地早期のみ。温暖地西部普通期は (1 cm/日以下). 暖地の砂壤土は (1.5 cm/日以下).〕 |                                                                                                                                                                      |
|                   | ② MO-338 粒<br>(MO-9)                             | 土壌処理 | 全域の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ.                                                                                                               | 植代後~-4, +0~+6 (ノビエ 1 L まで).                                                                                                                          | g/a<br>300~400                               | 砂壤土~埴土.                                                                                          | (1) 移植同時散布可能.                                                                                                                                                        |
|                   | ③ MTS-1 粒<br>(ショウロン M)                           | 土壌処理 | 全域の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・クログワイ。<br>〔但し、クログワイは寒地と温暖地西部以西の早期を除く。〕                                                                    | 植代後~-4, +0~+7 (ノビエ 1 L まで).<br>ホタルイ・クログワイ; 発生始まで.                                                                                                    | g/a<br>300~400                               | 埴土~埴土 (2 cm/日以下).                                                                                | (1) CNP に準ずる。<br>(2) クログワイ防除はクログワイにも有効な後期剤と組み合わせで使用する。<br>(3) 移植同時散布可能.                                                                                              |
|                   | ④ YH-3 粒<br>〔II-6-(1), II-6-(5) と併用。<br>(リーダール)〕 | 土壌処理 | 全域の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ・シズイ。<br>〔但し、ホタルイは暖地普通期を除く。ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは寒地・温暖地早期を除く。シズイは寒冷地北部のみ。〕 | 植代後~-4, +0~+7 (ノビエ 1 L まで).<br>〔但し、暖地は植代後~-4, +0~+5 (暖地普通期はノビエ 1.5 L まで).〕<br>ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生前~2 L まで。<br>クログワイ; 発生始まで。<br>シズイ; 草丈 2~3 cm まで. | g/a<br>300~400<br>〔但し、暖地のクログワイは 400 g/a のみ。〕 | 砂壤土~埴土 (2 cm/日以下).<br>〔但し、寒冷地以北・温暖地西部早期は砂壤土を除く。暖地は埴土~埴土 (1 cm/日以下).〕                             | (1) 深水での処理はさける。<br>(2) クログワイ防除は、クログワイにも有効な後期剤との組み合わせで使用する。<br>(3) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。<br>(寒冷地北部・温暖地東部普通期).<br>(4) シズイ防除はシズイにも有効な剤との組み合わせで使用する。 |
| II 移植後 3 年後土壌処理   | ① CG-155 B①粒<br>〔II-6-(6) と併用。<br>(セイラント)〕       | 土壌処理 | 全域の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・セリ・エゾノサヤナカグサ。<br>〔但し、ウリカワ〕                                                             | ±3~ノビエ 2 L まで。<br>〔但し、暖地は±3~ノビエ 1.5 L まで。〕<br>ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモ                                                                                       | 300 g/a                                      | 砂壤土~埴土 (2 cm/日以下).<br>〔但し、寒冷地の砂壤土は (1.5 cm/日以                                                    | (1) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。                                                                                                                                        |

| 区分                    | 薬剤名                      | 処理       | 適用地域       | 適用草種                                                                                        | 処理時期                                                                                                                                  | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                                | 使用上の注意               |
|-----------------------|--------------------------|----------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| II-3.<br>移植後土壌処理(つづき) | ① CG-155<br>B①粒<br>(つづき) | 土壌<br>処理 |            | は温暖地東部早期を除く。ミズガヤツリは寒冷地・温暖地以西の早期・温暖地東部の普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。セリは寒地・温暖地東部普通期のみ。エゾノサヤマカグサは寒地のみ。 | ダカ; 2 L まで。<br>〔但し、温暖地東部早期のミズガヤツリは発生前。温暖地東部普通期のミズガヤツリは発生始まで。ウリカワ; 発生始まで。〕<br>〔但し、寒冷地は〕2 L まで。<br>セリ; 再生前～始。<br>エゾノサヤマカグサ; 発生始～2 L まで。 |         | 下)。寒冷地は砂壤土を除く。温暖地東部の早期は(1 cm/日以下)。温暖地西部の早期は壇土～壇土(1 cm/日以下)。温暖地西部の普通期は(1.5 cm/日以下)。暖地の早期は壇壇土～壇土(1.5 cm/日以下)。暖地の普通期は壇壇土～壇土(2 cm/日以下)。 |                      |
|                       | ② JC-940<br>粒            | 土壌<br>処理 | 寒冷地以西の普通期。 | 一年生カヤツリグサ科・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。                                                                | +1～ホタルイ発生始まで。<br>〔但し、暖地はホタルイ 1 L まで。〕                                                                                                 | 300 g/a | 砂壇土～壇土(2 cm/日以下)。<br>〔但し、寒冷地北部は砂壇土を除く。温暖地西部は(1 cm/日以下)。暖地は壇壇土～壇土(1 cm/日以下)。                                                         |                      |
|                       | ③ KH-218<br>粒            | 土壌<br>処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ホタルイは温暖地西部の普通期・暖地を除く。ミズガヤツリは温暖地西部の普通期のみ。ヘラオモダカは寒地のみ。〕 | +3～ノビエ 1.5 L まで。<br>ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。                                                                                        | 300 g/a | 砂壇土～壇土(2 cm/日以下)。<br>〔但し、寒地・温暖地東部普通期は砂壇土を除く。温暖地東部早期・暖地普通期は壇土～壇土(1.5 cm/日以下)。温                                                       | (1) コナギ多発田では早目に使用する。 |

| 区分                   | 薬剤名                       | 処理   | 適用地域                         | 適用草種                                                                                                                                                                      | 処理時期                                                                                                                                                                        | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                        | 使用上の注意                                                               |
|----------------------|---------------------------|------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ-3.<br>移植後土壌処理(つづき) | ③ KH-218<br>粒<br>(つづき)    |      |                              |                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                             |         | 暖地西部は壇土～壇土(1cm/日以下)。暖地早期は(1cm/日以下)。                                                                                         |                                                                      |
|                      | ④ NSK-852<br>粒            | 土壌処理 | 全域の普通期。<br>〔但し、寒冷地南部を除く。〕    | 一年生雑草・マツバイ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ヘラオモダカは寒地のみ。〕                                                                                                                                   | +3～ノビエ1.5Lまで。<br>〔但し、温暖地西部以西はノビエ1Lまで。〕<br>ヘラオモダカ; 発生始まで。                                                                                                                    | 300 g/a | 壇土～壇土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地西部は砂壇土～壇土(1cm/日以下)。〕<br>暖地は壇土～壇土(1cm/日以下)。                                                        | (1) コナギ多発田では早目に使用する。<br>(2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。                  |
|                      | ⑤ SL-652<br>粒<br>(グラナイス)  | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。<br>〔但し、暖地の早期を除く。〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ウリカワは寒冷地北部・温暖地東部早期を除く。ミズガヤツリは寒地・寒冷地北部・温暖地東部早期を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。ヒルムシロは寒冷地・温暖地東部早期を除く。アオミドロ・表層剥離は寒冷地北部を除く。〕 | +3～ノビエ2Lまで。<br>〔但し、寒地・寒冷地・温暖地東部早期・暖地は+3～ノビエ1.5Lまで。〕<br>ホタルイ; 2Lまで。<br>〔但し、寒地は発生始まで。〕<br>ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ; 発生始まで。<br>〔但し、暖地・温暖地東部普通期のウリカワは2Lまで。〕<br>アオミドロ・表層剥離; 発生期。 | 300 g/a | 砂壇土～壇土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地西部以西の普通期は(1.5cm/日以下)。〕<br>寒地・温暖地東部普通期の砂壇土は(1.5cm/日以下)。<br>温暖地東部早期は砂壇土を除く。温暖地西部早期は壇土～壇土(1cm/日以下)。 | (1) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。<br>(2) 著しい高温条件下の砂壇土ではクロロシスの発生することがあるので注意する。 |
|                      | ⑥ SUM-72<br>粒<br>(ライトーン*) | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。                   | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒冷地南部・温暖地のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。〕                                                                                                 | +3～ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。<br>〔但し、温暖地東部のホタルイは2Lまで。〕                                                                                                        | 300 g/a | 砂壇土～壇土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒冷地南部・温暖地西部早期・暖地普通期は砂壇土を除く。温暖地西部普通期・暖地早期は                                                           | (1) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。<br>(2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。         |

| 区分                    | 薬剤名                                      | 処理   | 適用地域                            | 適用草種                                                                                                                                                                     | 処理時期                                                                                                                                                                                                 | 使用量                                  | 適用土壌                                                                                                                                  | 使用上の注意                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|------------------------------------------|------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| II-3.<br>移植後土壌処理(つづき) | ⑥ SUM-72粒<br>(つづき)                       |      |                                 |                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                      |                                      | (1 cm/日以下).<br>寒地の砂壤土は<br>(1.5 cm/日以下).<br>温暖地東部早期の砂壤土は<br>(1 cm/日以下).<br>温暖地西部早期は<br>壤土~埴土(1 cm/日以下).<br>暖地普通期は埴壤土~埴土<br>(1 cm/日以下). |                                                                                                                                                                              |
|                       | ⑦ TSJ-756粒<br>〔II-6-(1)と併用.〕             | 土壌処理 | 全域の早期・普通期.                      | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ.<br>〔但し、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地のみ、ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ、クログワイは寒冷地北部・温暖地以西の普通期のみ.〕                                                                 | ±3~ノビエ1.5Lまで.<br>ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ; 発生始まで.                                                                                                                                                    | 300 g/a                              | 砂壤土~埴土(2 cm/日以下).<br>〔但し、砂壤土は温暖地の早期・暖地の普通期を除く. 寒地の砂壤土は(1.5 cm/日以下). 温暖地西部以西は(1 cm/日以下).〕                                              | (1) コナギ多発田では早目に使用する.<br>(2) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(3) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地西部の普通期).                                                |
|                       | ⑧ DPX-84M粒<br>〔II-6-(1)と併用.<br>(プッシュ25)〕 | 土壌処理 | 全域の早期・普通期.<br>〔但し、温暖地西部の早期は除く.〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・クサネム・セリ・コウキヤガラ・シズイ・エゾノサヤナカグサ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く. オモダカ・クサネムは寒冷地・温暖地東部の普通期のみ、ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒冷地以 | +5~ノビエ2Lまで.<br>〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>オモダカ; 発生始まで.<br>クログワイ; 発生期.<br>〔但し、寒冷地・温暖地東部普通期は発生始まで.〕<br>ヒルムシロ; 発生盛期まで.<br>〔但し、寒冷地は発生始まで.〕<br>クサネム; 発生前~本葉展開期.<br>セリ; 再生前~始 | g/a<br>300~400<br>〔但し、400g/aはシズイのみ.〕 | 砂壤土~埴土(2 cm/日以下).<br>〔但し、寒地・暖地早期の砂壤土は(1.5 cm/日以下). 寒冷地・温暖地西部以西の普通期は砂壤土を除く.〕                                                           | (1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる.<br>(2) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(5) クログワイに |

| 区分                       | 薬剤名                                          | 処理   | 適用地域       | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                                             | 使用量                                    | 適用土壌                                                                                       | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------|----------------------------------------------|------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ-3.<br>移植後土壌処理<br>(つづき) | ⑧ DPX-84<br>M粒<br>(つづき)                      |      |            | 北のみ。クログワイは寒冷地・温暖地東部普通期・暖地のみ。セリ・シズイは寒冷地のみ。コウキヤガラは寒冷地北部のみ。エゾノサヤスカグサは寒地のみ。                                                                                                                                                                                                                                                               | コウキヤガラ; 発生始～発生盛期。シズイ; 草丈2～3cmまで。エゾノサヤスカグサ; 1～4L(草丈20cm以下)。アオミドロ・表層剥離; 発生前。                                                                                                                                                                                       |                                        |                                                                                            | 有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期)。                                                                                                                                                                                       |
|                          | ⑨ DPX-84<br>M①粒<br>〔Ⅱ-6-(1)と併用。<br>(プッシュ17)〕 | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・クサネム・ヒメホタルイ・セリ・コウキヤガラ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ウリカワは温暖地西部の早期を除く。ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地の普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは温暖地普通期・暖地のみ。ヒルムシロは温暖地以北の普通期・温暖地東部の早期のみ。クサネムは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。ヒメホタルイは暖地普通期のみ。セリは寒冷地以西の普通期のみ。コウキヤガラは温暖地東部早期・暖地早期のみ。アオミドロは寒地・寒冷地・温暖地西部の普通期のみ。表層剥離は寒地・寒冷地・温暖地西部の早期のみ。〕 | +5～ノビエ2Lまで。<br>〔但し、寒地・寒冷地北部はノビエ1.5Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>オモダカ; 発生始まで。<br>クログワイ; 発生期。<br>〔但し、温暖地は〕発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>〔但し、寒地は〕発生盛期まで。寒冷地は発生始期まで。<br>クサネム; 発生始～盛期。<br>ヒメホタルイ; 発生始。<br>セリ; 再生前～始まで。<br>コウキヤガラ; 発生始～盛期まで。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | g/a<br>300～400<br>〔但し、寒地・暖地は300g/aのみ。〕 | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地・温暖地西部普通期の砂壤土は(1.5cm/日以下)。暖地早期の砂壤土(1cm/日以下)。寒冷地・温暖地西部早期は砂壤土を除く。〕 | (1) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(2) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(5) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地普通期・暖地普通期)。 |
| Ⅱ適用時期拡大                  | ① BAS-3510(Na)粒<br>(バサグラン)                   | 茎葉処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・エゾノサヤ                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 田植前後土壌処理した場合。<br>±55点まで。<br>〔但し、温暖地西部普通期は+50まで。暖地早期                                                                                                                                                                                                              | g/a<br>300～400                         | 砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。<br>〔但し、寒地は(2cm/日以                                                       | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(2) 落水もしくは浅水で使用する。<br>(3) 処理後の灌水                                                                                                                                                                                |

| 区分                  | 薬 剤 名                                                  | 処 理  | 適用地域       | 適 用 草 種                                                                                                                                                                                                                                                   | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 使 用 量         | 適用土壌    | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------|--------------------------------------------------------|------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ—5.<br>適用時期拡大(つづき) | ① BAS—3510(Na) 粒 (つづき)                                 |      |            | ヌカグサ・シズイ。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地早期・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは温暖地西部以西の早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地のみ。〕                                                                                                                                                   | は+45まで。暖地普通期は+40まで。<br>一年生非イネ科；生育期。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；発生盛期～増殖中期。<br>〔但し、寒地・温暖地西部以西の早期は発生盛期～増殖初期。〕<br>オモダカ；発生始～発生盛期。<br>エゾノサヤヌカグサ；1～4 L(草丈20cm以下)。<br>シズイ；草丈10～30cmまで。                                                                                                                                                                  |               | 下)。     | は、48～72時間経過後に行なう。<br>(4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。                                                                                                                                                                              |
|                     | ② BAS—3510(Na) ①液<br>〔Ⅱ—6—(1) Ⅱ—6—(7) と併用。〕<br>(バサゲラン) | 茎葉処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・コウキヤガラ・クサネム。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地北部・温暖地(近畿・中国の普通期を除く)のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北と温暖地西部のみ。クログワイは寒冷地北部・温暖地東部早期・温暖地普通期・暖地のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。コウキヤガラは寒冷地北部・暖地のみ。クサネムは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。〕 | 田植前後土壌処理した場合。<br>+25～+55。<br>〔但し、温暖地東部の早期は+30～+55。温暖地西部普通期は+25～+50。暖地早期は+25～+45。暖地普通期は+25～+40。オモダカは+30～+40。クログワイは+20～+40→+30～+50の2回散布。コウキヤガラ多発田は+30→+45の2回散布。〕<br>一年生非イネ科；生育期。<br>ホタルイ；発生盛期～増殖中期。<br>〔但し、寒地は発生盛期～花茎抽出期。寒冷地北部・暖地早期は発生盛期～増殖初期。〕<br>ウリカワ・ミズガヤツリ；発生盛期～増殖中期。<br>〔但し、寒冷地北部以北では発生盛期～増殖初期。〕<br>オモダカ；5～6 L期、矢じり葉4枚まで。<br>〔但し、寒冷地・温暖地西部普通 | ml/a<br>50～70 | 砂壤土～埴土。 | (1) 前処理剤との組み合わせで使用。<br>(2) 落水もしくは浅水で使用する。<br>(3) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行なう。<br>(4) 散布は水稻になるべくかからないようにする。<br>(5) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(6) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(7) クログワイ徹底防除には2回散布の連年施用する(寒冷地以西の普通期・暖地の早期)。 |

| 区分                              | 薬 剤 名                               | 処理                              | 適用地域                                     | 適用 草 種                                                                                                                                                                                                                  | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                                               | 使 用 量  | 適用土壌                                                                                                                                                                                   | 使用上の注意                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ<br>—<br>5.<br>適用時期拡大<br>(つづき) | ② BAS-3510 (Na)<br>①液<br>(つづき)      |                                 |                                          |                                                                                                                                                                                                                         | 期では発生盛期<br>～増殖初期。温<br>暖地早期は発生<br>盛期。<br>ヘラオモダカ；発<br>生盛期～増殖初<br>期。<br>クログワイ；発生<br>盛期（草丈15～<br>30cm以下）。<br>エゾノサヤヌカグ<br>サ；1～4Lまで<br>（草丈20cm以下）。<br>シズイ；草丈10～<br>30cm以下。<br>コウキヤガラ；増<br>殖期。<br>クサネム；本葉展<br>開期。            |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                          |
|                                 | ③ BAS-514<br>水和<br>(ファセット)          | 茎<br>葉<br>兼<br>土<br>壌<br>処<br>理 | 全域の早期・<br>普通期。<br>〔但し、暖<br>地の早期<br>を除く。〕 | ノビエ。                                                                                                                                                                                                                    | 田植前後土壌処理<br>した場合。<br>+25～+40（ノビ<br>エ5Lまで）。                                                                                                                                                                            | 8g/a   | 砂壤土～埴<br>土（2cm/<br>日以下）。<br>〔但し、砂<br>壤土は寒<br>冷地南部<br>・温暖地<br>西部以西<br>の普通期<br>のみ。寒<br>冷地北部<br>・暖地は<br>（1.5cm/<br>日以下）。<br>温暖地西<br>部は（1<br>cm/日以<br>下）。温<br>暖地東部<br>普通期は<br>埴壤土～<br>埴土。〕 | (1) 前処理剤との<br>組み合わせで使用<br>する。<br>(2) 落水もしくは<br>浅水で使用する。<br>(3) 処理後の灌水<br>は48～72時間経<br>過後に行なう。<br>(4) 散布は水稲に<br>なるべくかから<br>ないようにする。<br>(5) 処理後2日以<br>内に降雨が予想<br>される場合には<br>使用をさしひか<br>える。 |
|                                 | ④ BAS-521<br>粒<br>(グラスゴン)<br>(前年通り) | 茎<br>葉<br>兼<br>土<br>壌<br>処<br>理 | 全域の早期・<br>普通期。                           | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・オモダカ・<br>ヘラオモダカ・セ<br>リ・エゾノサヤヌ<br>カグサ・シズイ。<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは寒地を除<br>く。オモダカは<br>寒冷地・温暖地<br>の普通期・温暖<br>地西部の早期の<br>み。ヘラオモダ<br>カは寒冷地北部<br>以北・温暖地西<br>部普通期のみ。<br>セリは温暖地東<br>部早期を除く。〕 | 田植前後土壌処理<br>した場合。<br>+20～+35（ノビ<br>エ3.5Lまで）。<br>〔但し、寒地はノ<br>ビエ3Lまで。<br>温暖地西部の早<br>期は4Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ<br>；4Lまで。<br>〔但し、温暖地西<br>部以西のホタル<br>イは花茎抽出始<br>まで。温暖地西<br>部早期・暖地の<br>ウリカワは5L<br>まで。温暖地西<br>部早期のミズガ | 300g/a | 砂壤土～埴<br>土（2cm/<br>日以下）。<br>〔但し、寒<br>地・暖地<br>早期の砂<br>壤土は<br>（1.5cm/<br>日以下）。<br>暖地普通<br>期の砂壤<br>土は（1<br>cm/日以<br>下）。温<br>暖地の早<br>期は砂埴<br>土を除く。〕                                        | (1) 前処理剤との<br>組み合わせで使<br>用する。<br>(2) 落水もしくは<br>浅水で使用する。<br>(3) 処理後の灌水<br>は48～72時間経<br>過後に行なう。<br>(4) 処理後2日以<br>内に降雨が予想<br>される場合は使<br>用をさしひかえ<br>る。                                       |

| 区分                  | 薬剤名                                         | 処理      | 適用地域       | 適用草種                                                                                                                                                                                                                 | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 使用量                                 | 適用土壌                                                                                      | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------|---------------------------------------------|---------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ-5.<br>適用時期拡大(つづき) | ④ BAS-521<br>粒<br>(つづき)                     |         |            | エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。<br>シズイは寒冷地北部のみ。                                                                                                                                                                                      | ヤツリは6Lまで。暖地のミズガヤツリは5Lまで。<br>オモダカ; 矢じり葉2枚まで。<br>〔但し、温暖地西部普通期は生育初期4~5Lまで。温暖地西部早期は矢じり葉1枚まで。〕<br>ヘラオモダカ; 3Lまで。<br>セリ; 発生盛期~増殖初期。<br>エゾノサヤヌカグサ; 1~4L(草丈20cm以下)。<br>シズイ; 草丈10~20cmまで。                                                                                                                                  |                                     |                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                     | ⑤ BAS-521<br>水和<br>〔Ⅱ-6-(1)と併用。〕<br>(グラスゴン) | 茎葉兼土壌処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・セリ・シズイ・エゾノサヤヌカグサ・キシウスズメノヒエ。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒地のみ。ヘラオモダカは寒冷地北部以北のみ。クログワイは寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。セリは寒冷地北部・温暖地の普通期・暖地のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。キシウスズメノヒエは温暖地東部のみ。〕 | 田植前後土壌処理した場合。<br>+25~+40(ノビエ5Lまで)。<br>〔但し、寒地はノビエ3.5Lまで。キシウスズメノヒエは+14~+26。〕<br>ホタルイ; 花茎抽出始まで。<br>ウリカワ; 6Lまで。<br>〔但し、寒地は4Lまで。寒冷地は5Lまで。〕<br>ミズガヤツリ; 5Lまで。<br>オモダカ; 矢じり葉4枚まで。<br>ヘラオモダカ; 4Lまで。<br>クログワイ; 発生盛期(草丈20cm以下)。<br>セリ; 増殖初期~盛期。<br>シズイ; 草丈20~30cm。<br>エゾノサヤヌカグサ; 1~4L(草丈20cm以下)。<br>キシウスズメノヒエ; 草丈15~20cmまで。 | 50 g/a<br>〔但し、キシウスズメノヒエは50~70 g/a。〕 | 砂壤土~埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、砂壤土は寒冷地・温暖地普通期・暖地のみ。暖地早期の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部早期は埴土~埴土(1cm/日以下)。〕 | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(2) 落水もしくは浅水で使用する。<br>(3) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行なう。<br>(4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(5) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。<br>(7) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(8) <u>クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部)。</u> |
|                     | ⑥ CG-155<br>B①粒<br>(セイラント)                  | 土壌処理    | 寒地・寒冷地北部。  | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモ                                                                                                                                                                                     | 田植前後土壌処理した場合。<br>+15~+25(ノビエ2Lまで)。                                                                                                                                                                                                                                                                               | 300 g/a                             | 埴土~埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒                                                                  | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 区分                      | 薬剤名                                                                           | 処理   | 適用地域       | 適用草種                                                                                                                                                                                                                       | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                         | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ-5.<br>適用時期拡大<br>(つづき) | ⑥ CG-155<br>B①粒<br>(つづき)                                                      |      |            | ダカ・セリ。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。セリは寒地のみ。〕                                                                                                                                                                                       | 〔但し、寒冷地北部は+10～+15 (ノビエ2Lまで)。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。<br>セリ；再生前～始。                                                                                                                                                                                                                            |         | 〔地は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む。〕                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                         | ⑦ NC-311<br>粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(4)<br>Ⅱ-6-(7)<br>と併用。<br>(シリウス)〕 | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・クサネム。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地普通期・温暖地西部早期のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。クログワイは寒冷地北部・温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロは寒冷地以北・温暖地東部普通期のみ。セリは寒冷地南部・暖地を除く。クサネムは温暖地東部の普通期のみ。〕 | 田植前後土壌処理した場合。<br>+12～+20。<br>〔但し、暖地早期は+15～+20。暖地普通期は+10～+15。クログワイは+20～+25→+35～+40(2回処理)。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ；2Lまで。<br>〔但し、温暖地西部普通期・暖地のミズガヤツリは3Lまで。温暖地西部のオモダカは発生期。クログワイ；発生盛期～前期。<br>〔但し、寒冷地北部・温暖地東部・暖地は発生始。〕<br>ヒルムシロ；発生期。<br>セリ；再生前～増殖初。<br>〔但し、寒地・寒冷地北部・温暖地東部は再生前～始。<br>クサネム；発生始～本葉展開期。〕 | 300 g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地東部早期は砂壤土(1cm/日以下)。埴土～埴土(1.5cm/日以下)。温暖地西部以西の普通期は(1cm/日以下)。温暖地西部早期は埴土(1cm/日以下)。〕 | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(2) 著しい多雨条件下では、除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(3) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地南部・温暖地東部普通期)。<br>(5) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(6) クログワイ徹底防除には2回散布の連年施用する(温暖地の普通期)。<br>(7) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部)。 |
|                         | ⑧ TH-913<br>⑩粒                                                                | 土壌処理 | 寒冷地以西の普通期。 | 一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。<br>〔但し、ミズガヤツリは温暖地東部・暖地を除く。〕                                                                                                                                                               | 田植前後土壌処理した場合。<br>+10～+15。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。                                                                                                                                                                                                                                                   | 300 g/a | 埴土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地東部は砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。埴土～埴土。温暖地西部                                                                   | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

| 区分                  | 薬剤名                                                       | 処理               | 適用地域                                                                                                                                                            | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                          | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 使用量     | 適用土壌                                                                                                             | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------|-----------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ-5.<br>適用時期拡大(つづき) | ⑧ TH-913<br>⑩粒<br>(つづき)                                   |                  |                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |         | 以西は砂<br>壤土～埴<br>土(1cm/<br>日以下).                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                     | ⑨ DPX-84<br>粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>と併用.<br>(前年通り)〕              | 土<br>壌<br>処<br>理 | 温暖地東部<br>以北の早期<br>・普通期.<br>〔但し, 温<br>暖地東部<br>の普通期<br>は低温時<br>移植地帯<br>に限る.<br>温暖地西<br>部(四国)<br>の普通期<br>はオモダ<br>カのみ適<br>用; 発生<br>始まで.<br>埴土～埴<br>土(1cm/<br>日以下).〕 | 一年生非イネ科雑<br>草・マツバイ・ホ<br>タルイ・ウリカワ・<br>ミズガヤツリ・オ<br>モダカ・ヘラオモ<br>ダカ・クログワイ・<br>ヒルムシロ・アオ<br>ミドロ・表層剥離・<br>セリ・シズイ.<br>〔但し, ミズガヤ<br>ツリ・オモダカ<br>は寒地を除く.<br>ヘラオモダカ・<br>アオミドロ・表<br>層剥離は寒地の<br>み, クログワイ・<br>シズイは寒冷地<br>北部のみ, ヒル<br>ムシロは寒冷地<br>を除く. セリは<br>寒地・寒冷地北<br>部のみ.〕 | 田植前後土壌処理<br>した場合.<br>+15～+20.<br>〔但し, クログワ<br>イは+20～+25<br>→+45～+50の<br>2回散布. シズ<br>イは+20→+40<br>の2回散布.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>Lまで.<br>オモダカ・ヒルム<br>シロ; 発生始まで.<br>〔但し, 温暖地東<br>部は発生前.<br>クログワイ; 発生<br>盛期.<br>セリ; 再生始まで.<br>シズイ; 草丈0～<br>3cmまで.<br>アオミドロ・表層剥<br>離; 発生前～始.                                                                | 300 g/a | 埴土～埴土<br>(2 cm/日<br>以下).<br>〔但し, 寒<br>地は砂壤<br>土(1.5 cm<br>/日以下)<br>を含む.〕                                         | (1) 前処理剤との<br>組み合わせで使<br>用する.<br>(2) 著しい多雨条<br>件では, 除草効<br>果が低下する場<br>合があるので,<br>使用はさしひか<br>える.<br>(3) オモダカ防除<br>はオモダカに有<br>効な剤との組み<br>合わせで使用す<br>る.<br>(4) クログワイ防<br>除はクログワイ<br>に有効な剤との<br>組み合わせで使<br>用する.<br>(5) クログワイ徹<br>底防除には2回<br>散布で連年施用<br>する(寒冷地北<br>部).                                                                                                             |
|                     | ⑩ DPX-84<br>①粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(3)<br>と併用.〕 | 土<br>壌<br>処<br>理 | 寒冷地南部<br>・温暖地の<br>早期・普通<br>期.<br>〔但し, 暖<br>地の普通<br>期はオモ<br>ダカ・クロ<br>グワイの<br>み適用.<br>オモダカ;<br>発生始ま<br>で, クロ<br>グワイ;<br>発生始.<br>埴土～埴<br>土(1cm/<br>日以下).〕          | 一年生非イネ科雑<br>草・マツバイ・ホ<br>タルイ・ウリカワ・<br>ミズガヤツリ・オ<br>モダカ・ヘラオモ<br>ダカ・クログワイ・<br>ヒルムシロ・セリ.<br>〔但し, オモダカ<br>は温暖地東部早<br>期を除く. ヘラ<br>オモダカは寒冷<br>地南部のみ. ク<br>ログワイは温暖<br>地の普通期のみ.<br>ヒルムシロは温<br>暖地東部普通<br>期のみ. セリは寒<br>冷地南部・温暖<br>地普通期のみ.〕                                | 田植前後土壌処理<br>した場合.<br>+15～+20.<br>〔但し, クログワ<br>イは+20～+25<br>→+40～+45<br>(2回処理).<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ・オ<br>モダカ; 2Lまで.<br>〔但し, 温暖地西<br>部早期のホタル<br>イは3Lまで.<br>温暖地西部のミ<br>ズガヤツリは3<br>Lまで. 温暖地<br>西部のオモダカ<br>は発生始まで.<br>クログワイ; 発生<br>盛～揃まで.<br>〔但し, 温暖地東<br>部普通期は発生<br>始.<br>ヒルムシロ; 発生<br>前.<br>セリ; 再生前～始.〕<br>〔但し, 寒冷地南<br>部・温暖地東部<br>普通期は再生始.〕 | 300 g/a | 埴土～埴土<br>(2 cm/日<br>以下).<br>〔但し, 温<br>暖地西部<br>は(1cm/<br>日以下).<br>温暖地西<br>部普通期<br>は砂壤土<br>(1 cm/<br>日以下)<br>を含む.〕 | (1) 前処理剤との<br>組み合わせで使<br>用する.<br>(2) 著しい多雨条<br>件下では, 除草<br>効果が低下する<br>場合があるので,<br>使用はさしひか<br>える.<br>(3) オモダカ防除<br>は, オモダカに<br>有効な剤との組<br>み合わせで使<br>用する.<br>(4) オモダカに有<br>効な剤との組み<br>合わせで, 連年<br>施用すること<br>によりさらに効果<br>が向上する(寒<br>冷地南部・温暖<br>地東部普通期・<br>暖地普通期).<br>(5) クログワイ防<br>除はクログワイ<br>に有効な剤との<br>組み合わせで使<br>用する.<br>(6) クログワイ徹<br>底防除には2回<br>散布の連年施用<br>する(温暖地の<br>普通期). |

| 区分                                              | 薬 剤 名                                            | 処 理              | 適用地域                                                                       | 適 用 草 種                                                                                                                                  | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                                             | 使 用 量   | 適 用 土 壤                                       | 使用上の注意                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| II-5.<br>適用時期拡大(つづき)                            | ⑪ DPX-84<br>M粒<br>〔II-6-(1)<br>と併用.<br>(プッシュ25)〕 | 土<br>壤<br>処<br>理 | 寒地・寒冷地<br>〔但し、温暖地東部の普通期はクログワイのみ適用。クログワイ；発生始。壇壇土～壇土(1cm/日以下)。〕              | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリ・クログワイ・シズイ・セリは寒冷地のみ。エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕 | 田植前後土壌処理した場合。<br>+15～+20。<br>ノビエ；2Lまで。<br>〔但し、寒地は1.5Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。<br>クログワイ・セリ；発生始まで。<br>ヒルムシロ；発生期。<br>〔但し、寒地は発生始まで。〕<br>エゾノサヤヌカグサ；1～4Lまで(草丈20cm以下)。<br>シズイ；草丈2～3cmまで。<br>アオミドロ・表層剥離；発生前～始。 | 300 g/a | 壇土～壇土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地は砂壇土(1.5cm/日以下)を含む。〕 | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(2) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。<br>(3) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期)。       |
|                                                 | ⑫ DPX-84<br>M①粒<br>II-6-(1)<br>と併用.<br>(プッシュ17)  | 土<br>壤<br>処<br>理 | 寒冷地南部。<br>〔但し、温暖地以西の普通期はクログワイのみ適用；発生始。壇壇土～壇土(1cm/日以下)。但し、温暖地西部は砂壇土・壇土を含む。〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。                                                                                                             | 田植前後土壌処理した場合。<br>+15～+20(ノビエ2Lまで)。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。                                                                                                                                                        | 300 g/a | 砂壇土～壇土(2cm/日以下)。                              | (1) 前処理剤との組み合わせで使用する。<br>(2) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(3) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地以西の普通期)。 |
| II-6-<br>(1)<br>ク<br>ロ<br>グ<br>ワ<br>イ<br>対<br>象 | ① BAS-<br>3510(Na)<br>①液                         |                  | 〔II-5-②の項参照〕                                                               |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                               |                                                                                                                                                                                 |
|                                                 | ② BAS-521<br>水和                                  |                  | 〔II-5-⑤の項参照〕                                                               |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                               |                                                                                                                                                                                 |
|                                                 | ③ DM-72B<br>粒                                    |                  | 〔VII-3-①の項参照〕                                                              |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                               |                                                                                                                                                                                 |
|                                                 | ④ DM-72B<br>①粒                                   |                  | 〔VII-2-①の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)                                            |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                               |                                                                                                                                                                                 |
|                                                 | ⑤ DM-72<br>BD①粒                                  |                  | 〔VII-2-②の項参照〕                                                              |                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                               |                                                                                                                                                                                 |

| 区分                                                                | 薬剤名              | 処理 | 適用地域                          | 適用草種 | 処理時期 | 使用量 | 適用土壌 | 使用上の注意 |
|-------------------------------------------------------------------|------------------|----|-------------------------------|------|------|-----|------|--------|
| Ⅱ<br>6<br>(1)<br>ク<br>ロ<br>グ<br>ワ<br>イ<br>対<br>象<br>(つ<br>づ<br>き) | ⑥ DPX-84<br>粒    |    | 〔Ⅱ-5-⑨の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑦ DPX-84<br>①粒   |    | 〔Ⅱ-5-⑩の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑧ DPX-84<br>B粒   |    | 〔Ⅶ-2-⑳の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑨ DPX-84<br>B①粒  |    | 〔Ⅶ-2-③の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑩ DPX-84<br>CG粒  |    | 〔Ⅶ-1-⑤の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑪ DPX-84<br>CG①粒 |    | 〔Ⅶ-1-⑥の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑫ DPX-84<br>M粒   |    | 〔Ⅱ-3-⑧およびⅡ-5-⑪の項参照〕           |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑬ DPX-84<br>M①粒  |    | 〔Ⅱ-3-⑨およびⅡ-5-⑫の項参照〕           |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑭ DPX-84<br>SC粒  |    | 〔Ⅶ-2-④の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑮ DPX-84<br>SC①粒 |    | 〔Ⅶ-2-㉑の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑯ DPX-84<br>T粒   |    | 〔Ⅶ-2-⑤の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑰ DPX-84<br>TD①粒 |    | 〔Ⅶ-2-⑥の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑱ KUH-883<br>粒   |    | 〔Ⅶ-1-⑩の項参照〕(但し、連年施用については継続検討) |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑲ NC-311<br>粒    |    | 〔Ⅱ-5-⑦の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ⑳ NC-311<br>B①粒  |    | 〔Ⅶ-2-⑦の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ㉑ NC-311<br>BCG粒 |    | 〔Ⅶ-2-⑧の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ㉒ NC-311<br>BS粒  |    | 〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ㉓ NC-311<br>CG粒  |    | 〔Ⅶ-1-⑬の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ㉔ NC-311<br>CG①粒 |    | 〔Ⅶ-1-⑭の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ㉕ NC-311<br>R粒   |    | 〔Ⅶ-2-⑪の項参照〕                   |      |      |     |      |        |
|                                                                   | ㉖ NC-311<br>T粒   |    | 〔Ⅶ-2-⑭の項参照〕                   |      |      |     |      |        |

| 区分                              | 薬剤名                     | 処理       | 適用地域                             | 適用草種   | 処理時期          | 使用量     | 適用土壌                                                                               | 使用上の注意                                                                                                                             |
|---------------------------------|-------------------------|----------|----------------------------------|--------|---------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| II-6<br>(1)<br>クロゲワイ対象<br>(つづき) | ②⑦ <u>NCM-72</u><br>粒   |          | 〔VII-1-⑩の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ②⑧ <u>NS-112</u><br>粒   | 土壌<br>処理 | 寒冷地北部<br>・温暖地東<br>部普通期・<br>暖地早期。 | クロゲワイ。 | クロゲワイ；発生<br>始 | 300 g/a | 壤土～埴土<br>(1 cm/日<br>以下)。<br>〔但し、寒<br>冷地北部<br>は埴壤土<br>～埴土。<br>暖地早期<br>は砂埴土<br>を含む。〕 | (1) クロゲワイ防<br>除はクロゲワイ<br>に有効な剤との<br>組み合わせで使<br>用する。<br>(2) クロゲワイに<br>有効な剤との組<br>み合わせで連年<br>施用することに<br>よりさらに効果<br>が向上する(寒<br>冷地北部)。 |
|                                 | ②⑨ <u>TSJ-756</u><br>粒  |          | 〔II-3-⑦の項参照〕                     |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ③⑩ YH-3 粒               |          | 〔II-2-④の項参照〕                     |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
| II-6<br>(2)<br>オモダカ対<br>象       | ① <u>DM-72</u><br>B粒    |          | 〔VII-3-①の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)  |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ② DPX-84<br>①粒          |          | 〔II-5-⑩の項参照〕                     |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ③ DPX-84<br>B①粒         |          | 〔VII-2-③の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ④ DPX-84<br>TD①粒        |          | 〔VII-2-⑥の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑤ <u>KUH-883</u><br>粒   |          | 〔VII-1-⑩の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑥ <u>KUH-883</u><br>①粒  |          | 〔VII-1-⑪の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑦ <u>NC-311</u><br>粒    |          | 〔II-5-⑦の項参照〕                     |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑧ <u>NC-311</u><br>B①粒  |          | 〔VII-2-⑦の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑨ <u>NC-311</u><br>BCG粒 |          | 〔VII-2-⑧の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑩ <u>NC-311</u><br>BS粒  |          | 〔VII-2-⑩の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑪ <u>NC-311</u><br>CG粒  |          | 〔VII-1-⑬の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑫ <u>NC-311</u><br>CG①粒 |          | 〔VII-1-⑭の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑬ NC-311<br>R 粒         |          | 〔VII-2-⑪の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |
|                                 | ⑭ <u>NC-311</u><br>SC粒  |          | 〔VII-2-⑫の項参照〕                    |        |               |         |                                                                                    |                                                                                                                                    |

| 区分                                              | 薬剤名              | 処理 | 適用地域            | 適用草種 | 処理時期 | 使用量 | 適用土壌 | 使用上の注意 |
|-------------------------------------------------|------------------|----|-----------------|------|------|-----|------|--------|
| II-6<br>(2) つき                                  | ⑮ NC-311<br>T粒   |    | 〔 VII-2-⑭の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ⑯ NCM-72<br>粒    |    | 〔 VII-1-⑯の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
| II-6<br>(3) セリ<br>対象                            | ① DPX-84<br>①粒   |    | 〔 II-5-⑩の項参照 〕  |      |      |     |      |        |
|                                                 | ② KUH-883<br>粒   |    | 〔 VII-1-⑩の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ③ KUH-883<br>①粒  |    | 〔 VII-1-⑪の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ④ NC-311<br>BCG粒 |    | 〔 VII-2-⑧の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
| II-6<br>(4) ヒル<br>ムシ<br>ロ対<br>象                 | ① KUH-883<br>①粒  |    | 〔 VII-1-⑪の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ② NC-311<br>粒    |    | 〔 II-5-⑦の項参照 〕  |      |      |     |      |        |
|                                                 | ③ NC-311<br>R粒   |    | 〔 VII-2-⑪の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
| II-6<br>(5) シ<br>ズイ<br>対<br>象                   | ① NC-311<br>B①粒  |    | 〔 VII-2-⑦の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ② NC-311<br>SC粒  |    | 〔 VII-2-⑫の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ③ NC-311<br>T粒   |    | 〔 VII-2-⑭の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ④ NCM-72<br>粒    |    | 〔 VII-1-⑯の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ⑤ YH-3 粒         |    | 〔 II-2-④の項参照 〕  |      |      |     |      |        |
| II-6<br>(6) エ<br>ゾノ<br>サヤ<br>ヌカ<br>グサ<br>対<br>象 | ① CG-155<br>B①粒  |    | 〔 II-3-①の項参照 〕  |      |      |     |      |        |
|                                                 | ② KUH-883<br>粒   |    | 〔 VII-1-⑩の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ③ NC-311<br>B①粒  |    | 〔 VII-2-⑦の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ④ NC-311<br>SC粒  |    | 〔 VII-2-⑫の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ⑤ NCM-72<br>粒    |    | 〔 VII-1-⑯の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ⑥ TH-913<br>BA粒  |    | 〔 VII-2-⑯の項参照 〕 |      |      |     |      |        |
|                                                 | ⑦ TH-913<br>BS粒  |    | 〔 VII-2-⑰の項参照 〕 |      |      |     |      |        |

| 区分                          | 薬剤名                          | 処理   | 適用地域                  | 適用草種                                                                                                 | 処理時期                                                                                                                                                                   | 使用量     | 適用土壌                                                                                        | 使用上の注意                                   |
|-----------------------------|------------------------------|------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| Ⅱ<br>6<br>(7)<br>クサネム対象     | ① BAS-3510(Na) ①液            |      | 〔Ⅱ-5-②の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ② NC-311 粒                   |      | 〔Ⅱ-5-⑦の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ③ NC-311 CG 粒                |      | 〔Ⅶ-1-⑬の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ④ NC-311 R 粒                 |      | 〔Ⅶ-2-⑪の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
| Ⅱ<br>6<br>(8)<br>コウキヤガラ対象   | ① KUH-883 ①粒                 |      | 〔Ⅶ-1-⑪の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ② NC-311 BCG 粒               |      | 〔Ⅶ-2-⑧の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ③ NC-311 BS 粒                |      | 〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ④ NC-311 R 粒                 |      | 〔Ⅶ-2-⑪の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
|                             | ⑤ NC-311 T 粒                 |      | 〔Ⅶ-2-⑭の項参照〕           |                                                                                                      |                                                                                                                                                                        |         |                                                                                             |                                          |
| Ⅲ<br>1.<br>湛<br>水<br>直<br>播 | ① DPX-84 M 粒 (プッシュ25) (前年通り) | 土壌処理 | 寒地・寒冷地北部.             | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く、ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ.〕     | イネ1L～ノビエ2Lまで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前.                                                                                     | 300 g/a | 埴土～埴土 (2 cm/日以下).                                                                           |                                          |
|                             | ② DPX-84 M ①粒 (プッシュ17)       | 土壌処理 | 寒冷地南部以西の普通期・温暖地西部の早期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ・セリ.<br>〔但し、ミズガヤツリは暖地を除く、オモダカ・ヒルムシロは温暖地の普通期のみ、セリは温暖地西部の普通期のみ.〕 | イネ0.5L～ノビエ2Lまで.<br>〔但し、寒冷地南部・温暖地東部・温暖地西部早期・暖地はイネ1L～ノビエ2Lまで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで.<br>〔但し、寒冷地南部・暖地は発生始まで.〕<br>オモダカ・ヒルムシロ; 発生期.<br>〔但し、温暖地東部のオモダカは発生始まで、セリ; 発生前～始. | 300 g/a | 砂埴土～埴土 (2 cm/日以下).<br>〔但し、温暖地西部普通期は (1 cm/日以下). 温暖地東部は砂埴土を除く. 温暖地西部の早期は埴土～埴土 (1.5 cm/日以下).〕 | (1) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する. |

| 区分                                              | 薬 剤 名                           | 処 理                             | 適用地域                          | 適 用 草 種                                                                                                         | 処 理 時 期                                                                                                                  | 使 用 量                                                     | 適 用 土 壌                            | 使用上の注意                                                                                                   |
|-------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅲ<br>—<br>2.<br>乾<br>田<br>直<br>播                | ① KUH-883<br>①粒                 | 土<br>壤<br>処<br>理                | 温暖地.                          | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヒルムシ<br>ロ.<br>〔但し、ヒルムシ<br>ロは温暖地東部<br>のみ.〕                               | 入水後3日～ノビ<br>エ2Lまで.<br>〔但し、温暖地東<br>部は入水後7日<br>～ノビエ2Lま<br>で.〕                                                              | 300 g/a                                                   | 壤土～埴土<br>(2 cm/日<br>以下).           |                                                                                                          |
| Ⅳ<br>畦<br>畔<br>雑<br>草                           | ① DCMU<br>フロアブル                 | 茎<br>葉<br>兼<br>土<br>壌<br>処<br>理 | 寒冷地・温<br>暖地西部.                | 全草種.                                                                                                            | 雑草発生前～生育<br>初期(草丈20cm<br>以下).                                                                                            | 20～25 g/a                                                 | 全土壌.                               | (1) ノリ面散布は<br>さける.<br>(2) 流入、飛散等<br>による水稻への<br>薬害に注意する.                                                  |
|                                                 | ② Hoe-<br>86610 液               | 茎<br>葉<br>処<br>理                | 寒冷地以西.                        | 全草種.                                                                                                            | 雑草生育期(草丈<br>30cm以下).                                                                                                     | ml/a<br>100～200                                           | 全土壌.                               | (1) ノリ面散布は<br>さける.<br>(2) 流入、飛散等<br>による水稻への<br>薬害に注意する.                                                  |
|                                                 | ③ MW-851<br>液                   | 茎<br>葉<br>処<br>理                | 全域.                           | 全草種.                                                                                                            | 雑草生育期(草丈<br>30cm以下).                                                                                                     | ml/a<br>50～100<br>〔但し、温<br>暖地以西<br>は75～<br>100 ml/<br>a.〕 | 全土壌.                               | (1) ノリ面散布は<br>さける.<br>(2) 流入、飛散等<br>による水稻への<br>薬害に注意する.                                                  |
|                                                 | ④ SC-224<br>液<br>(タッチダウ<br>ン)   | 茎<br>葉<br>処<br>理                | 全域.                           | 全草種.                                                                                                            | 雑草生育期(草丈<br>30cm以下).                                                                                                     | ml/a<br>20～40                                             | 全土壌.                               | (1) ノリ面散布は<br>さける.<br>(2) 流入、飛散等<br>による水稻への<br>薬害に注意する.                                                  |
| Ⅴ<br>耕<br>起<br>前<br>雑<br>草                      | ① Hoe-<br>86610 液               | 茎<br>葉<br>処<br>理                | 寒冷地以西.                        | 一年生雑草.                                                                                                          | 耕起前20～15日<br>(雑草生育期).                                                                                                    | ml/a<br>50～100                                            | 全土壌.                               | (1) 周辺の作物に<br>飛散しないよう<br>に注意する.                                                                          |
|                                                 | ② MW-851<br>液                   | 茎<br>葉<br>処<br>理                | 寒冷地以西.                        | 一年生雑草.                                                                                                          | 耕起前20日以前<br>(雑草生育期).                                                                                                     | ml/a<br>50～75                                             | 全土壌.                               | (1) 周辺の作物に<br>飛散しないよう<br>に注意する.                                                                          |
| Ⅶ<br>—<br>1.<br>初<br>期<br>一<br>発<br>処<br>理<br>剤 | ① DM-72<br>粒<br>(ウイホープ<br>25*)  | 土<br>壌<br>処<br>理                | 寒地・寒冷<br>地北部.                 | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヘラオモ<br>ダカ・ヒルムシロ・<br>セリ・アオミドロ・<br>表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは寒冷地北<br>部のみ.〕 | +5～ノビエ1.5<br>Lまで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.<br>セリ; 再生前～始.<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前. | 300 g/a                                                   | 壤土～埴土<br>(2 cm/日<br>以下).           | (1) 著しい多雨条<br>件下では除草効<br>果が低下する場<br>合があるので使<br>用はさしひかえ<br>る.<br>(2) 植付精度不良<br>で、根が露出す<br>る水田では使用<br>しない. |
|                                                 | ② DM-72<br>①粒<br>(ウイホープ<br>17*) | 土<br>壌<br>処<br>理                | 寒冷地南部<br>・温暖地の<br>早期・普通<br>期. | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヘラオモ                                                                    | +5～ノビエ1.5<br>Lまで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・                                                                               | 300 g/a                                                   | 壤土～埴土<br>(2 cm/日<br>以下).<br>〔但し、温〕 | (1) 著しい多雨条<br>件下では除草効<br>果が低下する場<br>合があるので使                                                              |

| 区分                         | 薬 剤 名                                       | 処理     | 適用地域                              | 適用 草 種                                                                                                                                                  | 処 理 時 期                                                                                                                          | 使 用 量   | 適用土壌                                                                                             | 使用上の注意                                                                                 |
|----------------------------|---------------------------------------------|--------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| VII<br>1.<br>初期一発処理剤 (つづき) | ② DM-72<br>①粒<br>(つづき)                      |        |                                   | ダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ、ヒルムシロは温暖地西部早期のみ。セリは温暖地東部早期・温暖地西部普通期を除く。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部普通期のみ。〕                                            | ヘラオモダカ; 2 L まで。<br>〔但し、温暖地東部のウリカワ・ミズガヤツリは発生始まで。〕<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。                                |         | 暖地東部早期は砂壤土(1.5 cm/日以下)を含む。温暖地西部早期は(1 cm/日以下)。温暖地西部普通期は砂壤土～埴土(1 cm/日以下)。                          | はさしひかえる。                                                                               |
|                            | ③ DPX-84<br>BM25粒<br>(前年度試験名DPX-84 BM粒)     | 土 壌 処理 | 寒地・寒冷地北部。                         | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕                                                            | +5～ノビエ2 L まで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。                                             | 300 g/a | 埴土～埴土(2 cm/日以下)。<br>〔但し、寒地は砂壤土(1.5 cm/日以下)を含む。〕                                                  | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。                                               |
|                            | ④ DPX-84<br>BM17粒<br>(前年度試験名DPX-84 BM①粒)    | 土 壌 処理 | 寒冷地南部以西の早期・普通期。<br>〔但し、暖地の早期を除く。〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・セリ。<br>〔但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ、ヒルムシロは温暖地東部普通期・温暖地西部早期のみ。セリは温暖地東部・温暖地西部早期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地南部・温暖地西部普通期のみ。〕 | +5～ノビエ2 L まで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2 L まで。<br>〔但し、寒冷地南部は発生始まで。〕<br>ヘラオモダカ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。<br>セリ; 再生前～始。 | 300 g/a | 埴土～埴土(2 cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地東部早期・温暖地西部普通期は(1.5 cm/日以下)。温暖地西部早期は(1 cm/日以下)。暖地は砂壤土～埴土(1.5 cm/日以下)。〕 | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。         |
|                            | ⑤ DPX-84<br>CG粒<br>〔Ⅱ-6-(1)と併用。<br>(ゴルゴ25)〕 | 土 壌 処理 | 寒地・寒冷地北部。                         | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは発生始まで。〕                                                  | +5～ノビエ2 L まで。<br>〔但し、寒地は+5～ノビエ1.5 L まで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。<br>オモダカ; 発生始まで。                                     | 300 g/a | 埴土～埴土(2 cm/日以下)。<br>〔但し、寒地は砂壤土(1.5 cm/日以下)を含む。〕                                                  | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。<br>(3) オモダカ防除 |

| 区分                     | 薬剤名                                          | 処理   | 適用地域         | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                   | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                                              | 使用量     | 適用土壌                                                                                                          | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------|----------------------------------------------|------|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-1.<br>初期一発処理剤(つづき) | ⑤ DPX-84<br>CG粒<br>(つづき)                     |      |              | ツリ・オモダカ・クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。                                                                                                                                                                                              | クログワイ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前～始。<br>エゾノサヤヌカグサ; 1～4 Lまで(草丈20cm以下)。<br>シズイ; 草丈0～3 cm。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。                                                                                                                                                   |         |                                                                                                               | はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(5) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(6) <u>クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部)。</u>                                                                                              |
|                        | ⑥ DPX-84<br>CG①粒<br>(Ⅱ-6-(1)と併用。<br>(ゴルフ17)) | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。   | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>[但し、ウリカワ・ミズガヤツリは寒地をのぞく。オモダカは寒冷地・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは温暖地以西の普通期・暖地早期のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期・暖地を除く。セリは寒冷地北部・温暖地東部普通期・温暖地西部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地北部・温暖地東部普通期・暖地を除く。] | +3～ノビエ1.5 Lまで。<br>[但し、寒冷地南部の砂壌土では+7～ノビエ1.5 Lまで。暖地普通期は+5～ノビエ1.5 Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。<br>[但し、寒冷地北部・温暖地西部早期のホタルイ・寒冷地北部のウリカワ・ヘラオモダカは発生始]まで。<br>オモダカ; 発生始まで。<br>クログワイ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>[但し、寒地のヒルムシロは2 Lまで。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300 g/a | 砂壌土～埴土(2 cm/日以下)。<br>[但し、寒地の砂壌土は(1.5 cm/日以下)。温暖地は砂壌土を除く。温暖地西部早期は(1 cm/日以下)。暖地早期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。暖地普通期は埴土～埴土。] | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。<br>(3) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。<br>(5) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(6) <u>クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地の普通期・暖地)。</u> |
|                        | ⑦ DPX-84<br>M粒<br>(プッシュ25)                   | 土壌処理 | 温暖地東部以北の普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離・セリ。                                                                                                                                                                      | +5～ノビエ2 Lまで。<br>[但し、寒地・寒冷地は+7～ノビエ2 Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2                                                                                                                                                                                             | 300 g/a | 砂壌土～埴土(2 cm/日以下)。<br>[但し、寒地の砂壌土は(1.5 cm/日以下)。寒                                                                | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。                                                                                                                                                                                                                     |

| 区分                        | 薬剤名                                                                                   | 処理   | 適用地域                  | 適用草種                                                                                                                                  | 処理時期                                                                                                                                                                                        | 使用量    | 適用土壌                                                                                    | 使用上の注意                                                                                                                       |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII<br>1.<br>初期一発処理剤(つづき) | ⑦ DPX-84<br>M粒<br>(つづき)                                                               |      |                       | 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリは寒地のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地以北のみ。〕                                                          | Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。<br>エゾノサヤヌカグサ; 1~4L(草丈20cm以下)。<br>セリ; 再生前~始。                                                                                                         |        | 〔冷地南部は砂壤土を除く。〕                                                                          |                                                                                                                              |
|                           | ⑧ DPX-84<br>SKH <sup>®</sup> 粒                                                        | 土壌処理 | 寒地・寒冷地北部。             | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・セリ。<br>〔但し、アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。〕                                       | +5~ノビエ2Lまで。<br>〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。<br>セリ; 再生前~始。                                                                        | 300g/a | 壤土~埴土(2cm/日以下)。                                                                         | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。                                                                                   |
|                           | ⑨ KH-249<br>①粒                                                                        | 土壌処理 | 寒冷地南部以西の普通期・温暖地西部の早期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒冷地南部・温暖地東部を除く。セリは温暖地西部早期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地南部を除く。〕                            | +3~ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ; 2Lまで。<br>〔但し、温暖地東部のホタルイ・ウリカワ、暖地のウリカワは発生始まで。〕<br>ミズガヤツリ; 発生始まで。<br>セリ; 再生前~始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前~発生盛期。                                                           | 300g/a | 砂壤土~埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地西部早期は埴土(1cm/日以下)。<br>温暖地西部普通期は(1cm/日以下)。<br>暖地は(1.5cm/日以下)〕。 | (1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。                                                                                           |
|                           | ⑩ KUH-883<br>粒<br>〔II-6-(1)<br>II-6-(2)<br>II-6-(3)<br>II-6-(6)<br>と併用。<br>(ウルフェース25) | 土壌処理 | 寒地・寒冷地北部。             | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ〕 | +5~ノビエ2Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>オモダカ; 発生始まで。<br>クログワイ; 発生前。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始~2Lまで。<br>シズイ; 草丈2~3cmまで。<br>セリ; 再生前~始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生始。<br>〔但し、寒冷地北部は発生前。〕 | 300g/a | 砂壤土~埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)〕。                                            | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。<br>(2) オモダカ防除はオモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(3) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 |

| 区分                   | 薬剤名                                                                               | 処理   | 適用地域                | 適用草種                                                                                                                                                      | 処理時期                                                                                                                                                                               | 使用量    | 適用土壌                                                                                                  | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ<br>1. 初期一発処理剤(つつき) | ⑪ KUH-883<br>①粒<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(3)<br>Ⅱ-6-(4)<br>Ⅱ-6-(8)<br>と併用。<br>(ウルフェース17) | 土壌処理 | 寒冷地南部<br>以西の早期・普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・コウキヤガラ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、オモダカは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地南部のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期を除く。セリは暖地を除く。コウキヤガラは暖地早期のみ。〕 | +5〜ノビエ2Lまで。<br>〔但し、暖地の普通期は+3〜ノビエ2Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、暖地のミズガヤツリは発生始まで。〕<br>オモダカ; 発生始まで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前〜始。<br>コウキヤガラ; 発生前。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300g/a | 砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地東部早期の砂壤土は(1cm/日以下)。温暖地西部早期は埴土(1cm/日以下)。暖地早期は(1cm/日以下)。暖地普通期は(1.5cm/日以下)。〕  | (1) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。<br>(3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。<br>(4) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(5) コウキヤガラ防除はコウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 |
|                      | ⑫ MT-032<br>粒<br>(エリードン)                                                          | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。          | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ウリカワは温暖地東部を除く。ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地北部以北のみ。〕                                                                  | +3〜ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地北部のホタルイ・ヘラオモダカ、寒冷地のウリカワは発生始まで。〕<br>ミズガヤツリ; 発生始まで。                                                                               | 300g/a | 砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、砂壤土は寒地・暖地早期(1.5cm/日以下)・温暖地東部普通期のみ。温暖地西部早期は(1cm/日以下)。温暖地西部普通期・暖地は(1.5cm/日以下)。〕 | (1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。                                                                                                                                                                       |
|                      | ⑬ NC-311<br>CG粒<br>Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(7)<br>と併用。<br>(ライザー20)              | 土壌処理 | 温暖地東部以北の早期・普通期。     | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・セリ・クサネム・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。〕                                               | +5〜ノビエ2Lまで。<br>〔但し、寒地・温暖地東部の早期は1.5Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、温暖地東部早期のウリカワは発生始まで。〕<br>オモダカ; 発生始。                                                                | 300g/a | 砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。〕                                                          | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。<br>(2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。<br>(3) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせ                                                                                                  |

| 区分                     | 薬 剤 名                                                        | 処 理        | 適用地域                                                                  | 適 用 草 種                                                                                                                                        | 処 理 時 期                                                                                                                                                  | 使 用 量  | 適用土壌                                                                                     | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------|--------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-1.<br>初期一発処理剤（つづき） | ⑬ NC-311<br>CG粒<br>(つづき)                                     |            |                                                                       | く、オモダカ・クログワイは寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。セリは寒冷地南部を除く。クサネムは温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期のみ。 | クログワイ；発生始まで。<br>ヒルムシロ；発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ；発生始。<br>シズイ；発生前～始。<br>セリ；再生前～始。<br>クサネム；発生始～本葉展開期まで。<br>アオミドロ・表層剥離；発生前。                                          |        |                                                                                          | せで使用使用する。<br>(4) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用使用する。<br>(5) オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する（寒冷地北部・温暖地東部普通期）。<br>(6) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用使用する。<br>(7) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する（寒冷地北部・温暖地東部普通期）。                                                      |
|                        | ⑭ NC-311<br>CG①粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>と併用。<br>(ライザー15)〕 | 土 壌<br>処 理 | 温暖地西部以西の早期・普通期。<br>〔但し、暖地の早期を除く。暖地の早期はクログワイのみ適用；発生始、砂壌土～埴土（1cm/日以下）。〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、クログワイ・アオミドロ・表層剥離は普通期のみ。〕                                                    | +3～ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ；2Lまで。<br>〔但し、温暖地西部早期のホタルイ・ウリカワは発生始まで。普通期のオモダカは発生始まで。〕<br>クログワイ；発生始。<br>ヒルムシロ；発生期。<br>セリ；再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離；発生前。 | 300g/a | 埴土～埴土（2cm/日以下）。<br>〔但し、温暖地西部早期は（1cm/日以下）。温暖地西部普通期は砂壌土（1cm/日以下）を含む。暖地普通期は埴土～埴土（1cm/日以下）。〕 | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。<br>(3) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。<br>(4) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用使用する。<br>(5) オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する（温暖地西部・暖地普通期）。<br>(6) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用使用する。<br>(7) クログワイに有効な剤との組 |

| 区分                    | 薬剤名                                                                            | 処理   | 適用地域                             | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                | 処理時期                                                                                                                                                                                                          | 使用量    | 適用土壌                                                                                                                                 | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ-1.<br>初期一発処理剤 (しゅく) | ⑭ NC-311<br>CG①粒<br>(つづき)                                                      |      |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                               |        |                                                                                                                                      | み合わせて連年<br>施用することによりさらに効果が向上する(暖地)。                                                                                                                                                                                                                            |
|                       | ⑮ NC-311<br>CG-D粒                                                              | 土壌処理 | 寒地・寒冷地・温暖地<br><u>東部の早期・普通期</u> 。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地南部のみ。ヒルムシロは寒冷地以北のみ。エゾノサヤヌカグサ・セリは寒地のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部早期を除く。〕                                                                                     | +5～ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始まで。<br>〔但し、寒地のホタルイ・ウリカワ・温暖地東部のホタルイ・温暖地東部普通期のミズガヤツリは2Lまで。ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地南部は発生始まで。〕<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。          | 300g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地東部は砂壤土を除く。〕                                                                            | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。                                                                                                                                                                                                                      |
|                       | ⑯ NCM-72<br>粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(5)<br>Ⅱ-6-(6)<br>と併用。<br>(カルコン*)〕 | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。                       | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地以西の普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北・温暖地東部普通期のみ。クログワイは寒冷地北部・温暖地東部の普通期のみ。ヒルムシロは寒冷地南部・温暖地東部の早期を除く。セリは寒冷地南部を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・ | +3～ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地は発生始まで。温暖地東部普通期のオモダカ・ヘラオモダカは発生始まで。〕<br>クログワイ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前～始。<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始～2Lまで。<br>シズイ; 草丈2～3cmまで。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、砂壤土は寒冷地南部・温暖地西部早期を除く。寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部早期は(1cm/日以下)。温暖地西部普通期・暖地早期は(1.5cm/日以下)。暖地普通期は埴土～埴土(1.5cm/日以下)〕。 | (1) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。<br>(3) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) オモダカに有効な剤との組み合わせで、連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期・暖地普通期)。<br>(5) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(6) クログワイ防除はクログワイ |

| 区分                          | 薬 剤 名                  | 処 理  | 適用地域       | 適 用 草 種                                                                                                                                 | 処 理 時 期                                                                                                                                | 使 用 量  | 適用土壌                                                                                                                                    | 使用上の注意                                                                     |
|-----------------------------|------------------------|------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱ<br>1.<br>初期一発処理剤<br>(つづき) | ⑯ NCM-72<br>粒<br>(つづき) |      |            | 温暖地東部のみ。                                                                                                                                |                                                                                                                                        |        |                                                                                                                                         | に有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(7) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(寒冷地北部)。 |
|                             | ⑰ NJM-754<br>粒         | 土壌処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地・温暖地東部の早期を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは寒冷地南部・温暖地東部を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕 | +3～ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地のホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ、温暖地東部普通期のウリカワは発生始まで。〕<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300g/a | 壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地東部早期・暖地普通期は砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)……温暖地東部普通期は砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)・埴土。温暖地西部普通期・暖地早期は砂壤土～埴土(1cm/日以下)。温暖地西部早期は(1cm/日以下)。〕 | (1) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。                                          |
|                             | ⑱ NSK-850<br>D粒        | 土壌処理 | 寒地・寒冷地北部。  | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリは寒地のみ。ミズガヤツリ・アオミドロ・表層剥離は寒冷地北部のみ。〕                    | +5～ノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地北部のホタルイは発生始まで。〕<br>ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始まで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。  | 300g/a | 壤土～埴土(2cm/日以下)。                                                                                                                         | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。                                   |

| 区分                   | 薬剤名                       | 処理   | 適用地域             | 適用草種                                                                                                                                                                    | 処理時期                                                                                                                                                          | 使用量     | 適用土壌                                                                                  | 使用上の注意                                                                           |
|----------------------|---------------------------|------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ—1.<br>初期一発処理剤(つづき) | ⑱ <u>NSK-850 D①粒</u>      | 土壌処理 | 寒冷地南部以西の普通期.     | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ、ヒルムシロは温暖地以西のみ、セリは温暖地のみ、アオミドロ・表層剥離は温暖地東部のみ。〕                                               | +5〜ノビエ2Lまで。<br>〔但し、寒冷地南部・温暖地東部はノビエ1.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地南部は発生始まで。〕<br>ヘラオモダカ; 発生始まで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前〜始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。  | 300 g/a | 砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒冷地南部は砂壤土を除く。暖地は埴土〜埴土(1cm/日以下)。温暖地西部は(1cm/日以下)〕。              | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。 |
|                      | ⑳ <u>PSS①D 粒 (スラッシュ*)</u> | 土壌処理 | 寒冷地以西の早期・普通期.    | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ヘラオモダカは寒冷地北部・温暖地西部普通期のみ、ヒルムシロは寒冷地北部・温暖地以西の普通期のみ、アオミドロ・表層剥離は暖地を除く。〕                                          | +3〜ノビエ2Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒冷地南部・温暖地東部早期のミズガヤツリ・寒冷地北部のヘラオモダカは発生始まで。〕<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前〜始。                           | 300 g/a | 埴土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。温暖地西部・暖地早期は(1cm/日以下)。温暖地東部は砂壤土(2cm/日以下)を含む。〕 | (1) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。                  |
|                      | ㉑ <u>SKH-8602①粒</u>       | 土壌処理 | 全域の普通期・温暖地西部の早期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ、ヒルムシロは寒冷地南部・温暖地西部普通期を除く。セリは寒冷地を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期のみ。〕 | +5〜ノビエ2Lまで。<br>〔但し、暖地はノビエ1.5Lまで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>〔但し、寒地のウリカワ・温暖地東部のウリカワ・ミズガヤツリは発生始まで。〕<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前〜始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300 g/a | 埴土〜埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地西部は(1cm/日以下)。温暖地西部普通期は砂壤土を含む。暖地普通期は埴土〜埴土(1.5cm/日以下)〕。       | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。 |

| 区分                      | 薬 剤 名                         | 処理               | 適用地域                                           | 適用 草 種                                                                                                                                                       | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                  | 使 用 量                                                                                                                          | 適用土壌                                                                                                                                                                                                                                                    | 使用上の注意                                                                             |
|-------------------------|-------------------------------|------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ-1.<br>初期一発処理剤<br>(おき) | ㊸ SPM-344<br>粒<br>(ウリデン*)     | 土<br>壌<br>処<br>理 | 寒冷地以西<br>の早期・普<br>通期.                          | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヘラオモ<br>ダカ.<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは温暖地東<br>部早期を除く.<br>ヘラオモダカは<br>寒冷地・温暖地<br>西部普通期のみ.〕                                     | +3〜ノビエ 1.5<br>L まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ; 2 L まで.<br>〔但し、寒冷地・<br>温暖地西部早期<br>のホタルイ・ウ<br>リカワ・温暖地<br>東部早期のウリ<br>カワは発生始ま<br>で.<br>ミズガヤツリ・ヘ<br>ラオモダカ; 発生<br>始まで.<br>〔但し、暖地のミ<br>ズガヤツリは2<br>L まで.〕 | 300 g/a                                                                                                                        | 砂壌土〜埴<br>土 (2 cm/<br>日以下).<br>〔但し、寒<br>冷地・温<br>暖地西部<br>早期・暖<br>地普通期<br>は砂壌土<br>を除く.<br>温暖地西<br>部は (1<br>cm/日以<br>下). 暖<br>地は (1.5<br>cm/日以<br>下).〕                                                                                                      | (1) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは、完全に防<br>除してから使用<br>する.                                 |
|                         | ㊸ TJM-354<br>粒                | 土<br>壌<br>処<br>理 | 全域の早期<br>・普通期.<br>〔但し、温<br>暖地東部<br>の早期を<br>除く〕 | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヘラオモ<br>ダカ・ヒルムシロ.<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは寒地・温<br>暖地東部を除く.<br>ヘラオモダカは<br>寒冷地以北のみ.<br>ヒルムシロは温<br>暖地東部・温暖<br>地西部普通期を<br>除く.〕 | +1〜ノビエ 1.5<br>L まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>L まで.<br>〔但し、寒冷地は<br>発生始まで.〕<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.                                                                             | 300 g/a                                                                                                                        | 埴土〜埴土<br>(2 cm/日<br>以下).<br>〔但し、温<br>暖地西部<br>・暖地早<br>期は (1<br>cm/日以<br>下). 温<br>暖地東部<br>普通期の<br>埴土・暖<br>地普通期<br>は (1.5<br>cm/日以<br>下). 寒<br>地・温暖<br>地東部普<br>通期・暖<br>地普通期<br>は砂壌土<br>(1.5 cm/<br>日以下)<br>を含む.<br>暖地早期<br>は砂壌土<br>(1 cm/<br>日以下)<br>を含む.〕 | (1) ミズガヤツリ<br>の多い水田では<br>早目に散布する.<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは完全に防除<br>してから使用する. |
|                         | ㊸ TSM-612<br>フロアブル<br>(ジーゼット) | 土<br>壌<br>処<br>理 | 全域の早期<br>・普通期.                                 | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヘラオモ<br>ダカ・ヒルムシロ.<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは寒地を除く.<br>ヘラオモダ<br>カは寒冷地以北<br>のみ. ヒルムシ<br>ロは早期を除く.〕                              | +0〜ノビエ 1.5<br>L まで.<br>〔但し、寒冷地以<br>北・温暖地西部<br>早期は+3〜ノ<br>ビエ 1.5 L まで.〕<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ;<br>2 L まで.<br>〔但し、寒冷地以<br>北のホタルイ・<br>ウリカワ・ミズ<br>ガヤツリ、温暖<br>地東部のミズガ                       | ml/a<br>80〜100<br>〔但し、寒<br>冷地以北<br>は 100〜<br>120 ml/a.<br>温暖地西<br>部早期は<br>100 ml/a.<br>温暖地東<br>部の+0<br>処理は<br>100 ml/a<br>のみ.〕 | 砂壌土〜埴<br>土 (2 cm/<br>日以下).<br>〔但し、寒<br>地・温暖<br>地西部早<br>期は砂壌<br>土を除く.<br>温暖地東<br>部早期の<br>砂壌土は<br>(1 cm/<br>日以下).<br>温暖地東                                                                                                                                 | (1) 広葉多発田で<br>の使用はさける.<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは、完全に防<br>除してから使用<br>する.       |

| 区分                    | 薬剤名                                                          | 処理      | 適用地域                                               | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                          | 処理時期                                                                                                                                                                                                 | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                                             | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-1.<br>初期発処理剤(つづき) | ② TSM-612<br>フロアブル<br>(つづき)                                  |         |                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                               | ヤツリ, 温暖地<br>西部早期のホタルイは発生始<br>まで.<br>ヘラオモダカ; 発生<br>始まで.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.                                                                                                                            |         | 部普通期<br>の砂壤土<br>は(1.5<br>cm/日<br>以下). 温<br>暖地西部<br>早期は<br>(1cm/<br>日以下).<br>暖地は<br>(1.5cm/<br>日以下).                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| VII-2.<br>初・中期一発処理剤   | ① DM-72<br>B①粒<br>〔II-6-(1)<br>II-6-(2)<br>と併用.<br>(ワーキング*)〕 | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地南部<br>以西の早期・<br>普通期.                            | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・オモダカ・<br>ヘラオモダカ・ク<br>ログワイ・ヒルム<br>シロ・セリ・アオ<br>ミドロ・表層剥離.<br>〔但し, オモダカ・<br>ヘラオモダカは<br>寒冷地南部のみ<br>クログワイは温<br>暖地東部普通期<br>のみ. ヒルムシ<br>ロは寒冷地南部<br>・温暖地東部・<br>暖地普通期を除<br>く. セリは暖地<br>を除く. アオミ<br>ドロ・表層剥離<br>は温暖地東部早<br>期を除く.〕 | +5〜ノビエ 2.5<br>L まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>L まで.<br>オモダカ; 発生始<br>まで.<br>クログワイ; 発生<br>始.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.<br>セリ; 再生前〜始.<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前.                                   | 300 g/a | 砂壤土〜埴<br>土(2cm/<br>日以下).<br>〔但し, 温<br>暖地西部<br>早期は砂<br>壤土を除<br>く. 温暖<br>地西部早<br>期・暖地<br>は(1cm/<br>日以下).<br>暖地普通<br>期は埴土<br>〜埴土<br>(1cm/<br>日以下).〕 | (1) 著しい多雨条<br>件では除草効果<br>が低下する場合<br>があるので, 使<br>用はさしひかえ<br>る.<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは, 完全に防<br>除してから使用<br>する.<br>(3) オモダカ防除<br>はオモダカに有<br>効な剤との組み<br>合わせで使用す<br>る.<br>(4) クログワイ防<br>除はクログワイ<br>に有効な剤との<br>組み合わせで使<br>用する.                                                    |
|                       | ② DM-72<br>BD①粒<br>〔II-6-(1)<br>と併用.〕                        | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地南部<br>以西の早期・<br>普通期.<br>〔但し, 暖<br>地の早期<br>を除く.〕 | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・クログワ<br>イ・ヒルムシロ・<br>セリ・アオミドロ・<br>表層剥離.<br>〔但し, ミズガヤ<br>ツリは温暖地東<br>部早期を除く.<br>クログワイは温<br>暖地西部普通期<br>のみ. ヒルムシ<br>ロは温暖地西部<br>・暖地普通期の<br>み. セリは温暖<br>地東部早期・暖<br>地を除く. アオ<br>ミドロ・表層剥<br>離は温暖地東部<br>早期を除く.〕                 | +5〜ノビエ 2.5<br>L まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ;<br>2 L まで.<br>〔但し, 温暖地東<br>部早期のウリカ<br>ワ・温暖地東部<br>普通期のミズガ<br>ヤツリは発生始<br>まで.〕<br>クログワイ; 発生<br>始.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.<br>セリ; 再生前〜始.<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前. | 300 g/a | 砂壤土〜埴<br>土(2cm/<br>日以下).<br>〔但し, 温<br>暖地早期<br>は砂壤土<br>を除く.<br>温暖地西<br>部早期は<br>(1cm/<br>日以下).<br>暖地普通<br>期は埴土<br>〜埴土<br>(1.5cm/<br>日以下).〕         | (1) 処理後24時間<br>以内から1日50<br>mm以上の降雨が<br>連続することが<br>予想される場合<br>は使用をはしひ<br>かえる.<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは, 完全に防<br>除してから使用<br>する.<br>(3) クログワイ防<br>除は, クログワ<br>イに有効な剤と<br>の組み合わせで<br>使用する.<br>(4) クログワイに<br>有効な剤との組<br>み合わせで連年<br>施用することに<br>よりさらに効果<br>が向上する(温<br>暖地西部の普通<br>期). |

| 区分                      | 薬 剤 名                                                      | 処理      | 適用地域                                                              | 適用 草 種                                                                                                                                                                        | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                        | 使 用 量   | 適用土壌                                                                          | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------|------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-2.<br>初・中期一発処理剤(しき) | ③ DPX-84<br>B①粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>と併用.<br>(ロザール17) | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地以西の早期・普通期.                                                     | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、オモダカは寒冷地南部・温暖地東部のみ、ヘラオモダカは寒冷地のみ、クログワイは温暖地以西の普通期のみ、ヒルムシロ・セリは寒冷地北部・暖地の普通期を除く、アオミドロ・表層剥離は寒冷地北部・暖地を除く.〕 | +5〜ノビエ2.5Lまで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>オモダカ; 発生始まで.<br>クログワイ; 発生始.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前〜始.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前.                                                                | 300 g/a | 砂壤土〜埴土(2cm/日以下).<br>〔但し、寒冷地北部・温暖地早期は砂壤土を除く. 温暖地早期・暖地は(1cm/日以下). 暖地普通期は埴土〜埴土.〕 | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる.<br>(2) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する.<br>(4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(5) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地以西の普通期).                                 |
|                         | ④ DPX-84<br>SC粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>と併用.<br>(フジガラス25)           | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地北部.<br>〔但し、温暖地東部普通期はクログワイのみ適用. クログワイ; 発生始. 埴土〜埴土(1cm/日以下).〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・コウキヤガラ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリ・クログワイ・セリ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ、エゾノサヤヌカグサは寒地のみ.〕                                         | +5〜ノビエ2.5Lまで.<br>〔但し、寒地は+10〜+20(ノビエ2L)まで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>クログワイ; 発生始.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>エゾノサヤヌカグサ; 1〜4L(草丈20cm以下).<br>セリ; 再生前〜始.<br>コウキヤガラ; 発生始〜盛.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生始まで. | 300 g/a | 埴土〜埴土(2cm/日以下).<br>〔但し、寒地は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む.〕                                 | (1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる.<br>(2) コウキヤガラ防除はコウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(3) コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで、連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部).<br>(4) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する.<br>(5) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期). |

| 区分                       | 薬剤名                                                              | 処理      | 適用地域            | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                             | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                            | 使用量     | 適用土壌                                                              | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------|---------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-2.<br>初・中期一発処理剤(じつき) | ⑤ DPX-84<br>T粒<br>{ II-6-(1)<br>と併用.<br>(ザーク25) }                | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地.         | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離・コウキヤガラ.<br>{ 但し, ミズガヤツリ・オモダカは寒冷地のみ.<br>エゾノサヤヌカグサは寒地のみ.<br>クログワイ・セリ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ. }                                                                                 | +5~ノビエ2.5Lまで.<br>{ 但し, 寒地は+5~+20(ノビエ2.5L)まで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>オモダカ・クログワイ; 発生始まで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>{ 但し, 寒地は発生始まで.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前~始.<br>{ 但し, 寒冷地は発生始.<br>エゾノサヤヌカグサ; 1~4L(草丈20cm以下).<br>セリ; 再生前~始.<br>コウキヤガラ; 発生始~盛期. } | 300 g/a | 壤土~埴土(2cm/日以下).<br>{ 但し, 寒地は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む. }                  | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる.<br>(2) 植付精度不良で, 根が露出する水田では使用しない.<br>(3) コウキヤガラ防除は, コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(4) オモダカ防除は, オモダカに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(5) クログワイ防除は, クログワイに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(6) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部). |
|                          | ⑥ DPX-84<br>TD①粒<br>{ II-6-(1)<br>II-6-(2)<br>と併用.<br>(ザークD17) } | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地南部以西の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・クサネム・コウキヤガラ・オモミドロ・表層剥離.<br>{ 但し, オモダカは寒冷地南部・温暖地東部普通期・温暖地西部早期・暖地普通期のみ. ヘラオモダカは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ.<br>クログワイは温暖地以西の普通期・暖地早期のみ.<br>ヒルムシロは温暖地東部早期を除く. セリは暖地普通期を除く. クサネムは寒冷地南部のみ. コウキヤガラは暖地普通期. } | +5~ノビエ3Lまで.<br>{ 但し, 寒冷地南部・温暖地東部は+5~ノビエ2.5Lまで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>{ 但し, 暖地普通期のオモダカ・温暖地東部普通期のヘラオモダカは発生始まで.<br>クログワイ; 発生始.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前~始.<br>クサネム; 発生始~本葉展開期.<br>コウキヤガラ; 発生始.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前. }          | 300 g/a | 砂壤土~埴土(2cm/日以下).<br>{ 但し, 温暖地西部早期は(1cm/日以下).<br>暖地は(1.5cm/日以下). } | (1) 植付精度不良で, 根が露出する水田では使用しない.<br>(2) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる.<br>(3) オモダカ防除は, オモダカに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(4) オモダカに有効な剤との組み合わせで, 連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地南部・温暖地東部普通期・温暖地西部早期・暖地普通期).<br>(5) 田植前に生育したミズガヤツリは, 完全に防除してから使用        |

| 区分                                  | 薬 剤 名                                                                              | 処 理     | 適用地域       | 適 用 草 種                                                                                                                                                                                                                                                                                | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 使 用 量   | 適 用 土 壌                                                                                                                                                                                    | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII<br>2.<br>初・中期<br>一発処理剤<br>(つづき) | ⑥ DPX-84<br>TD①粒<br>(つづき)                                                          |         |            | のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地西部以西の早期を除く。                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         |                                                                                                                                                                                            | する。<br>(6) コウキヤガラ防除はコウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(7) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(8) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地の普通期・暖地)。                                                                                                                                                                                             |
|                                     | ⑦ NC-311<br>B①粒<br>II-6-(1)<br>II-6-(2)<br>II-6-(5)<br>II-6-(6)<br>と併用。<br>(サーベイヤ) | 茎葉兼土壌処理 | 全域の早期・普通期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・クサネム・シズイ・アオミドロ・表層剥離。<br>但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地東部普通期・温暖地西部早期・暖地普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北・温暖地西部普通期のみ。クログワイは温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロは温暖地東部・暖地早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは全域の普通期のみ。クサネムは寒冷地南部と温暖地東部普通期のみ。シズイは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。 | +5～ノビエ2.5 Lまで。<br>但し、寒地は+10～+20(ノビエ2 L)まで。<br>温暖地東部の砂壌土は+7～ノビエ2.5 Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。<br>但し、寒冷地南部・暖地普通期のオモダカ、温暖地西部のヘラオモダカは発生始まで。<br>クログワイ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始～2 Lまで。<br>セリ; 再生前～始。<br>クサネム; 発生始～本葉展開期。<br>シズイ; 草丈2～3 cmまで。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生始。 | 300 g/a | 埴土～埴土(2 cm/日以下)。<br>但し、暖地普通期は(1.5 cm/日以下)。<br>温暖地西部早期は(1 cm/日以下)。<br>寒地・温暖地東部普通期は砂壌土(1.5 cm/日以下)を含む。<br>温暖地東部早期は砂埴土～埴土(1 cm/日以下)。<br>温暖地西部普通期は砂埴土～埴土(1.5 cm/日以下)。<br>暖地早期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。 | (1) 処理後24時間以内から1日50 mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。<br>(3) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(5) オモダカに有効な剤との組み合わせで、連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地南部・温暖地東部普通期・温暖地西部早期・暖地普通期)。<br>(6) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(7) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温 |

| 区分                 | 薬 剤 名                                                                           | 処理                              | 適用地域           | 適 用 草 種                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 使 用 量   | 適 用 土 壌                                                                                                                                                                                                                                               | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ<br>2.            | ⑦ NC-311<br>B①粒<br>(つづき)                                                        |                                 |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |                                                                                                                                                                                                                                                       | 暖地以西の普通<br>期).                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 初・中期一発処理剤<br>(つづき) | ⑧ NC-311<br>BCG粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(3)<br>Ⅱ-6-(8)<br>と併用.<br>(イナズマ) | 茎<br>葉<br>兼<br>土<br>壌<br>処<br>理 | 全域の早期・<br>普通期. | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・オモダカ・<br>ヘラオモダカ・ク<br>ログワイ・ヒルム<br>シロ・エゾノサヤ<br>ヌカグサ・コウキ<br>ヤガラ・セリ・シ<br>ズイ・クサネム・<br>アオミドロ・表層<br>剥離.<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは寒地を除<br>く。オモダカは<br>寒冷地・温暖地<br>東部普通期・暖<br>地普通期のみ。<br>ヘラオモダカは<br>寒地・寒冷地・<br>温暖地普通期<br>のみ。クログワイ<br>は寒冷地北部・<br>温暖地以西の普<br>通期のみ。ヒル<br>ムシロは温暖地<br>東部早期を除く。<br>エゾノサヤヌカ<br>グサは寒地のみ。<br>コウキヤガラ・<br>シズイは寒冷地<br>北部のみ。クサ<br>ネムは寒冷地南<br>部・温暖地東部<br>普通期のみ。ア<br>オミドロ・表層<br>剥離は寒地・温<br>暖地東部普通期<br>のみ。〕 | +5～ノビエ2.5<br>Lまで。<br>〔但し、寒地は+<br>10～+20(ノビ<br>エ2.5L)まで。<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>Lまで。<br>〔但し、温暖地西<br>部のヘラオモダ<br>カは発生始まで。<br>オモダカ; 発生始<br>まで。<br>クログワイ; 発生<br>始。<br>ヒルムシロ; 発生<br>期。<br>エゾノサヤヌカグ<br>サ・コウキヤガラ;<br>発生始。<br>セリ; 再生前～始<br>シズイ; 発生前～<br>始期。<br>クサネム; 発生始<br>～本葉展開期。<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前。 | 300 g/a | 砂壤土～埴<br>土(2cm/<br>日以下)。<br>〔但し、寒<br>冷地・温<br>暖地西部<br>早期・暖<br>地普通期<br>は砂壤土<br>を除く。<br>温暖地西<br>部早期は<br>(1cm/<br>日以下)。<br>温暖地西<br>部普通期<br>・暖地は<br>(1.5cm/<br>日以下)。<br>寒地・温<br>暖地東部<br>早期の砂<br>壤土は<br>(1.5cm/<br>日以下)。<br>暖地早期<br>の砂壤土<br>は(1cm/<br>日以下)。 | (1) 処理後24時間<br>以内から1日50<br>mm以上の降雨が<br>連続することが<br>予想される場合<br>は使用をさしひ<br>かえる。<br>(2) 植付精度不良<br>で、根が露出す<br>る水田では使用<br>しない。<br>(3) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは、完全に防<br>除してから使用<br>する。<br>(4) コウキヤガラ<br>防除は、コウキ<br>ヤガラに有効な<br>剤との組み合わせ<br>で使用する。<br>(5) コウキヤガラ<br>に有効な剤との<br>組み合わせで連<br>年施用すること<br>によりさらに効<br>果が向上する<br>(寒冷地北部)。<br>(6) シズイ防除は、<br>シズイに有効な<br>剤との組み合わせ<br>で使用する。<br>(7) オモダカ防除<br>は、オモダカに<br>有効な剤との組<br>み合わせで使用<br>する。<br>(8) オモダカに有<br>効な剤との組み<br>合わせで、連年<br>施用すること<br>によりさらに効果<br>が向上する(寒<br>冷地・温暖地東<br>部普通期・暖地<br>普通期)。<br>(9) クログワイ防<br>除は、クログワ<br>イに有効な剤と<br>の組み合わせで<br>使用する。<br>(10) クログワイに<br>有効な剤との組<br>み合わせで連年<br>施用すること<br>によりさらに効果<br>が向上する(寒<br>冷地北部・温暖 |

| 区分                       | 薬 剤 名                                                                | 処理      | 適用地域                         | 適 用 草 種                                                                                                                                                                                                                                                              | 処 理 時 期                                                                                                                                                                                                                      | 使 用 量   | 適 用 土 壤                                                                                                             | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-2.<br>初・中期一発処理剤(つづき) | ⑧ NC-311 BCG粒 (つづき)                                                  |         |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                              |         |                                                                                                                     | 地以西の普通期)。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                          | ⑨ NC-311 BCG-D 粒                                                     | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。         | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカ・ヒルムシロは寒冷地以北のみ、エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは寒地・寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部早期を除く。                                                                                               | +5～ノビエ2.5Lまで。<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2.5L)まで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。                                                                           | 300 g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒冷地・温暖地東部早期は砂壤土を除く。寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)〕。                                                     | (1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                          | ⑩ NC-311 BS粒<br>〔II-6-(1)<br>II-6-(2)<br>II-6-(8)<br>と併用。<br>(ボルサー)〕 | 茎葉兼土壌処理 | 全域の早期・普通期。<br>〔但し、暖地の早期を除く。〕 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ・シズイ・セリ・クサネム・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地北部・温暖地東部普通期・暖地普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは寒冷地北部・温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。コウキヤガラ・シズイは寒冷地北部のみ。クサネムは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表 | +5～ノビエ2.5Lまで。<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2.5L)まで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>オモダカ; 発生始まで。<br>クログワイ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ; 発生始。<br>シズイ; 発生前～始期。<br>セリ; 再生前～始。<br>クサネム; 発生始～本葉展開期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300 g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒冷地・温暖地西部早期・暖地は砂壤土を除く。温暖地の早期は(1cm/日以下)。<br>温暖地西部普通期・暖地は(1.5cm/日以下)。<br>寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)〕。 | (1) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。<br>(3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(4) コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部)。<br>(5) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(6) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(7) オモダカに有効な剤との組み |

| 区分                         | 薬剤名                                                                                      | 処理                  | 適用地域                                                                                                                   | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                                                                         | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ-2.<br>初・中期一発処理剤<br>(つづき) | ⑩ NC-311<br>BS粒<br>(つづき)                                                                 |                     |                                                                                                                        | 層剥離は寒地・<br>温暖地東部普通<br>期・暖地普通期<br>のみ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                                                              | <p>合わせて、連年<br/>施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期・暖地普通期)。</p> <p>(8) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。</p> <p>(9) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地以西の普通期)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                            | ⑪ NC-311<br>R粒<br>(Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(4)<br>Ⅱ-6-(7)<br>Ⅱ-6-(8)<br>と併用。<br>(ペルーフ) | 茎葉<br>兼土<br>壌処<br>理 | 全域の普通<br>期。<br>〔但し、暖<br>地の早期<br>はコウキ<br>ヤガラ<br>のみ適用。<br>コウキヤ<br>ガラ: 発<br>生始～2<br>Lまで。<br>砂壤土～<br>埴土(2<br>cm/日以<br>下)。〕 | <p>一年生雑草・マツ<br/>バイ・ホタルイ・<br/>ウリカワ・ミズガ<br/>ヤツリ・オモダカ・<br/>ヘラオモダカ・ク<br/>ログワイ・ヒルム<br/>シロ・エゾノサヤ<br/>ヌカグサ・セリ・<br/>シズイ・クサネム。<br/>但し、ミズガヤ<br/>ツリは寒地を除<br/>く。オモダカは<br/>寒冷地北部・温<br/>暖地東部普通期<br/>のみ。ヘラオモ<br/>ダカは寒冷地以<br/>北のみ。クログ<br/>ワイは温暖地以<br/>西の普通期のみ。<br/>ヒルムシロは温<br/>暖地西部を除く。<br/>エゾノサヤヌカ<br/>グサは寒地のみ。<br/>セリは温暖地東<br/>部以北のみ。シ<br/>ズイは寒冷地北<br/>部のみ。クサネ<br/>ムは寒冷地南部<br/>・温暖地東部普<br/>通期のみ。</p> | <p>+7～ノビエ2.5<br/>Lまで。<br/>〔但し、寒地は+<br/>10～+20(ノビ<br/>エ2L)まで。<br/>温暖地西部以西<br/>は+5～ノビエ<br/>2.5Lまで。<br/>ホタルイ・ウリカ<br/>ワ・ミズガヤツリ・<br/>ヘラオモダカ; 2<br/>Lまで。<br/>オモダカ; 発生始<br/>まで。<br/>クログワイ; 発生<br/>始。<br/>ヒルムシロ; 発生<br/>期。<br/>エゾノサヤヌカ<br/>グサ; 発生始。<br/>セリ; 再生前～始。<br/>シズイ; 発生前～<br/>始期。<br/>クサネム; 発生始<br/>～本葉展開期。〕</p> | 300 g/a | 埴土～埴土<br>(2cm/日<br>以下)。<br>〔但し、温<br>暖地東部<br>普通期は<br>砂壤土<br>(2cm/<br>日以下)<br>を含む。<br>温暖地西<br>部普通期<br>は砂壤土<br>～埴土<br>(1cm/<br>日以下)。<br>暖地普通<br>期は埴土<br>～埴土<br>(1.5cm/<br>日以下)〕 | <p>(1) 著しい多雨条<br/>件では除草効果<br/>が低下する場合<br/>があるので、使<br/>用はさしひかえ<br/>る。</p> <p>(2) 田植前に生育<br/>したミズガヤツ<br/>リは完全に防除<br/>してから使用す<br/>る。</p> <p>(3) オモダカ防除<br/>は、オモダカに<br/>有効な剤との組<br/>み合わせで使用<br/>する。</p> <p>(4) オモダカに有<br/>効な剤との組み<br/>合わせで、連年<br/>施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期)。</p> <p>(5) クログワイ防<br/>除はクログワイ<br/>に有効な剤との<br/>組み合わせで、<br/>使用する。</p> <p>(6) クログワイに<br/>有効な剤との組<br/>み合わせで連年<br/>施用することによりさらに効果が向上する(温暖地以西の普通期)。</p> <p>(7) シズイ防除は、<br/>シズイに有効な<br/>剤との組み合わせ<br/>で使用使用する。</p> |

| 区分                          | 薬剤名                                                                           | 処理      | 適用地域                    | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                    | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                                                   | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-2.<br>初・中期一発処理剤<br>(めき) | ⑪ NC-311<br>R粒<br>(つづき)                                                       |         |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                         |         |                                                                                                                                                        | (8) コウキヤガラ<br>防除はコウキヤ<br>ガラに有効な剤<br>との組み合わせ<br>で使用する。                                                                                                                                                         |
|                             | ⑫ NC-311<br>SC粒<br>〔Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(5)<br>Ⅱ-6-(6)<br>と併用。〕                    | 茎葉兼土壌処理 | 全域の普通<br>期・温暖地<br>東部の早期 | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・オモダカ・<br>ヘラオモダカ・ヒ<br>ルムシロ・セリ・<br>エゾノサヤヌカグ<br>サ・シズイ・アオ<br>ミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリは寒地・温<br>暖地東部早期を<br>除く。オモダカ<br>は寒地・温暖<br>地東部普通期の<br>み。ヘラオモダ<br>カは寒地・寒冷<br>地北部のみ。ヒ<br>ルムシロは温暖<br>地東部早期を除<br>く。セリは温暖<br>地東部早期・暖<br>地を除く。エゾ<br>ノサヤヌカグサ<br>は寒地のみ。シ<br>ズイは寒地北部<br>のみ。アオミ<br>ドロ・表層剥離<br>は寒地・温暖地<br>普通期のみ。〕 | +5～ノビエ2.5<br>Lまで。<br>〔但し、寒地は+<br>10～+20(ノビ<br>エ2L)まで。<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>Lまで。<br>オモダカ; 発生始<br>まで。<br>ヒルムシロ; 発生<br>期。<br>セリ; 再生前～始。<br>エゾノサヤヌカグ<br>サ; 発生始～2L<br>まで。<br>シズイ; 草丈2～<br>3cmまで。<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前。 | 300 g/a | 壤土～埴土<br>(2cm/日<br>以下)。<br>〔但し、温<br>暖地東部<br>早期は砂<br>埴土(1.5<br>cm/日以<br>下)を含<br>む。温暖<br>地西部は<br>砂埴土～<br>埴土(1<br>cm/日以<br>下)。暖<br>地は(1.5<br>cm/日以<br>下)。 | (1) 著しい多雨条<br>件では除草効果<br>が低下する場合<br>があるので使用<br>はさしひかえる。<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは、完全に防<br>除してから使用<br>する。<br>(3) オモダカ防除<br>はオモダカに有<br>効な剤との組み<br>合わせて使用する。<br>(4) シズイ防除は<br>シズイに有効な<br>剤との組み合わせ<br>で使用する。 |
|                             | ⑬ NC-311<br>SC粒                                                               | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地南部<br>以西の普通<br>期。    | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヒルムシ<br>ロ・セリ・アオミ<br>ドロ・表層剥離。<br>〔但し、ヒルムシ<br>ロは温暖地以西<br>のみ。セリ・ア<br>オミドロ・表層<br>剥離は温暖地の<br>み。〕                                                                                                                                                                                                              | +5～ノビエ2.5<br>Lまで。<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ;<br>2Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生<br>期。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前。                                                                                                                            | 300 g/a | 埴土～埴土<br>(2cm/日<br>以下)。<br>〔但し、温<br>暖地西部<br>は砂埴土<br>～埴土<br>(1cm/<br>日以下)。<br>暖地は<br>(1.5cm/<br>日以下)。                                                   | (1) 著しい多雨条<br>件下では除草効<br>果が低下する場<br>合があるので使<br>用はさしひかえ<br>る。<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは完全に防除<br>してから使用す<br>る。                                                                                             |
|                             | ⑭ NC-311<br>T粒<br>〔Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>Ⅱ-6-(5)<br>Ⅱ-6-(8)<br>と併用。<br>(アクト)〕 | 茎葉兼土壌処理 | 全域の早期・<br>普通期。          | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・オモダカ・<br>ヘラオモダカ・ク<br>ログワイ・ヒルム<br>シロ・エゾノサヤ<br>ヌカグサ・セリ・<br>シズイ・コウキヤ<br>ガラ・アオミドロ・<br>表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤ                                                                                                                                                                                                      | +5～ノビエ3L<br>まで。<br>〔但し、寒地は+<br>10～+20(ノビ<br>エ2.5L)まで。<br>寒冷地・温暖地<br>以西の早期・温<br>暖地東部普通期<br>は+5～ノビエ<br>2.5Lまで。<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・                                                                                                   | 300 g/a | 砂埴土～埴<br>土(2cm/<br>日以下)。<br>〔但し、温<br>暖地西部<br>普通期・<br>暖地は<br>(1.5cm/<br>日以下)。<br>寒冷地の砂<br>埴土は<br>(1.5cm/                                                | (1) 処理後24時間<br>以内から1日50<br>mm以上の降雨が<br>連続することが<br>予想される場合<br>は使用をさしひ<br>かえる。<br>(2) 植付精度不良<br>で、根が露出す<br>る水田では使用<br>しない。<br>(3) 田植前に生育                                                                        |

| 区分                            | 薬剤名                     | 処理      | 適用地域      | 適用草種                                                                                                                                                                                                                 | 処理時期                                                                                                                                                                                                         | 使用量     | 適用土壌                                     | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------|-------------------------|---------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ<br>2.<br>初・中期一発処理剤<br>(つづき) | ⑭ NC-311<br>T粒<br>(つづき) |         |           | ツリは寒地を除く、オモダカは寒冷地北部・温暖地以西の普通期のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地・温暖地西部普通期のみ。クログワイは寒冷地北部・温暖地以西の普通期・暖地早期のみ。ヒルムシロは寒地・寒冷地北部・温暖地以西の普通期・温暖地西部早期のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは寒地・寒冷地北部・温暖地普通期・温暖地西部早期のみ。シズイ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期・暖地のみ。 | ヘラオモダカ; 2 Lまで。<br>〔但し、温暖地西部のヘラオモダカは発生始まで。〕<br>オモダカ; 発生始まで。<br>〔但し、温暖地西部は2 Lまで。〕<br>クログワイ; 発生始。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始～2 Lまで。<br>セリ; 再生前～始。<br>シズイ; 草丈2～3 cmまで。<br>コウキヤガラ; 発生始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。 |         | 日以下)。寒冷地は砂壤土を除く。温暖地西部早期は壤土～埴土(1 cm/日以下)。 | したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。<br>(4) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(5) コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部)。<br>(6) シズイ防除はシズイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(7) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(8) オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地以西の普通期)。<br>(9) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。<br>(10) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地普通期・暖地)。 |
|                               | ⑮ NC-311<br>TⒶ粒         | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地北部。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。セリ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕                                                                                                                     | +5～ノビエ2.5 Lまで。<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2.5 L)まで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前～始。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。                                                                           | 300 g/a | 壤土～埴土(2 cm/日以下)。                         | (1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。<br>(2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 区分                        | 薬 剤 名                             | 処 理     | 適用地域               | 適用 草 種                                                                                                                                                                       | 処 理 時 期                                                                                                                                                                   | 使 用 量                                     | 適用土壌                                                                                                                                     | 使用上の注意                                                                             |
|---------------------------|-----------------------------------|---------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ<br>2.<br>初・中期一発処理剤(つつき) | ⑯ NC-326<br>粒                     | 茎葉兼土壌処理 | 温暖地の普通期.           | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ.                                                                                                                                                 | +5~ノビエ2.5Lまで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ;<br>2Lまで.<br>〔但し, 温暖地東部のウリカワ・ミズガヤツリは発生始まで.〕                                                                                             | 300 g/a                                   | 壤土~埴土(2 cm/日以下).<br>〔但し, 温暖地西部は(1 cm/日以下).〕                                                                                              | (1) 著しい多雨条件では, 除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる.                                        |
|                           | ⑰ NTN-831<br>粒<br>(シンザン)          | 茎葉兼土壌処理 | 全域の普通期・温暖地西部以西の早期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し, ウリカワは温暖地西部普通期・暖地早期を除く. ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカは寒冷地以北のみ. ヒルムシロは寒地・寒冷地・温暖地西部以西の普通期のみ. アオミドロ・表層剥離は寒冷地北部・温暖地以西の普通期のみ.〕 | +5~ノビエ2.5Lまで.<br>〔但し, 寒地・温暖地西部・暖地早期はノビエ2Lまで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ;<br>2Lまで.<br>ミズガヤツリ; 2Lまで.<br>〔但し, 温暖地西部は発生始まで.〕<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>〔但し, 寒冷地は発生始まで.〕<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前. | g/a<br>300~400<br>〔但し, 温暖地西部早期・暖地は300のみ.〕 | 壤土~埴土(2 cm/日以下).<br>〔但し, 温暖地西部早期は(1 cm/日以下). 暖地普通期は(1.5 cm/日以下). 暖地早期は砂埴土~埴土(2 cm/日以下).〕                                                 | (1) 植付精度不良で, 根が露出する水田では使用しない.                                                      |
|                           | ⑱ TH-913<br>BA 粒<br>〔Ⅱ-6-(6)と併用.〕 | 茎葉兼土壌処理 | 全域の早期・普通期.         | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し, ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカは寒冷地以北のみ. ヒルムシロ・セリは暖地早期を除く. エゾノサヤヌカグサは寒地のみ. アオミドロ・表層剥離は寒冷地・暖地を除く.〕             | +5~ノビエ2.5Lまで.<br>〔但し, 寒地は+10~+20(ノビエ2L)まで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前~始.<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始~2Lまで.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前.                    | 300 g/a                                   | 壤土~埴土(2 cm/日以下).<br>〔但し, 寒地は砂埴土(1.5 cm/日以下)を含む. 温暖地東部早期・温暖地西部普通期・暖地早期は砂埴土~埴土(1 cm/日以下). 温暖地東部普通期は砂埴土(2 cm/日以下)を含む. 温暖地西部早期は(1 cm/日以下). 暖 | (1) 著しい多雨条件では, 除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる.<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは, 完全に防除してから使用する. |

| 区分                       | 薬剤名                                            | 処理      | 適用地域       | 適用草種                                                                                                                                                                     | 処理時期                                                                                                                                                                                                   | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                               | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------|------------------------------------------------|---------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII-2.<br>初・中期一発処理剤(つづき) | ⑮ TH-913<br>BA粒<br>(つづき)                       |         |            |                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                        |         | 地普通期<br>は壇壤土<br>～壇土<br>(1.5cm/<br>日以下).                                                                                            |                                                                                                                                                                                                               |
|                          | ⑯ TH-913<br>BS粒<br>II-6-(6)<br>と併用.            | 茎葉兼土壌処理 | 全域の早期・普通期. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカは寒冷地以北のみ. セリは暖地早期を除く. エゾノサヤヌカグサは寒地のみ. アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部・温暖地西部早期・暖地普通期のみ.〕 | +5～ノビエ2.5Lまで.<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期<br>セリ; 再生前～始.<br>エゾノサヤヌカグサ; 発生始～2Lまで.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前.                                                   | 300 g/a | 砂壤土～壇土(2cm/日以下).<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下). 寒冷地は砂壤土を除く. 温暖地東部早期・暖地早期は(1cm/日以下). 温暖地西部早期は砂壤土を除く(1cm/日以下). 暖地普通期は壇壤土～壇土(1.5cm/日以下).〕 | (1) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる.<br>(2) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する.                                                                                                                     |
|                          | ⑳ DPX-84<br>B粒<br>II-6-(1)<br>と併用.<br>(ロザール25) | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地北部.  | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・シズイ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ. エゾノサヤヌカグサは寒地のみ.〕                                  | +5～ノビエ2.5Lまで.<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2.5L)まで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>オモダカ・アオミドロ・表層剥離; 発生始まで.<br>クログワイ; 発生始.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>エゾノサヤヌカグサ; 1～4L(草丈20cm以下)まで.<br>セリ; 再生前～始.<br>シズイ; 草丈0～3cm. | 300 g/a | 砂壤土～壇土(2cm/日以下).<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下).〕                                                                                       | (1) 著しい多雨条件下では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる.<br>(2) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(3) シズイ防除はシズイに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用.<br>(5) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部). |

| 区分                          | 薬剤名                                                      | 処理      | 適用地域                    | 適用草種                                                                                                                                                                                                                                                                       | 処理時期                                                                                                                                                                                                                                         | 使用量     | 適用土壌                                                                                                                                           | 使用上の注意                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------|---------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VII<br>2.<br>初・中期一発処理剤(つづき) | ㊸ DPX-84<br>SC①粒<br>(Ⅱ-6-(1)<br>と併用.<br>(フジガラス<br>17)    | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地南部<br>以西の早期・<br>普通期. | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・クログワ<br>イ・ヒルムシロ・<br>セリ・クサネム・<br>アオミドロ・表層<br>剥離.<br>〔但し、クログワ<br>イは温暖地以西<br>の普通期のみ.<br>ヒルムシロは温<br>暖地東部・温暖<br>地西部以西の早<br>期を除く. セリ<br>は寒冷地南部・<br>温暖地普通期・<br>暖地早期のみ.<br>クサネムは寒冷<br>地南部のみ. ア<br>オミドロ・表層<br>剥離は温暖地東<br>部・温暖地西部<br>普通期のみ.〕 | +3〜ノビエ 2.5<br>L まで.<br>〔但し、寒冷地南<br>部の砂壤土は+<br>7〜ノビエ 2.5<br>L まで. 温暖地<br>西部以西は+5<br>〜ノビエ 2.5 L<br>まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ;<br>2 L まで.<br>クログワイ; 発生<br>始.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.<br>セリ; 再生前〜始.<br>クサネム; 発生始<br>〜本葉展開期.<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生前. | 300 g/a | 砂壤土〜埴<br>土(2 cm/日<br>以下).<br>〔但し、温<br>暖地東部<br>早期は<br>(1 cm/日<br>以下).<br>暖地は<br>(1.5 cm/日<br>以下).<br>温暖地西<br>部早期は<br>埴壤土〜<br>埴土(1 cm/日<br>以下).〕 | (1) 処理後24時間<br>以内から1日50<br>mm以上の降雨が<br>連続することが<br>予想される場合<br>は使用をさしひ<br>かえる.<br>(2) 田植前に生育<br>したミズガヤツ<br>リは完全に防除<br>してから使用する.<br>(3) クログワイ防<br>除は、クログワ<br>イに有効な剤と<br>の組み合わせで<br>使用する.<br>(4) クログワイに<br>有効な剤との組<br>み合わせて連年<br>施用することに<br>よりさらに効果<br>が向上する(温<br>暖地東部普通期<br>・暖地普通期). |
|                             | ① DM-72B<br>粒<br>(Ⅱ-6-(1)<br>Ⅱ-6-(2)<br>と併用.<br>(ワーキング*) | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷<br>地北部.           | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・オモダカ・<br>ヘラオモダカ・ク<br>ログワイ・ヒルム<br>シロ・セリ・シズ<br>イ・アオミドロ・<br>表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤ<br>ツリ・オモダカ・<br>クログワイ・シ<br>ズイは寒冷地北<br>部のみ.〕                                                                                                              | +5〜ノビエ 2.5<br>L まで.<br>〔但し、寒地は+<br>10〜+20(ノビ<br>エ 2.5 L) まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ミズガヤツリ・<br>ヘラオモダカ; 2<br>L まで.<br>オモダカ; 発生始<br>まで.<br>クログワイ; 発生<br>始.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.<br>セリ; 再生前〜始.<br>シズイ; 草丈2〜<br>3 cm まで.<br>アオミドロ・表層<br>剥離; 発生期.         | 300 g/a | 埴土〜埴土<br>(2 cm/日<br>以下).<br>〔但し、寒<br>地は砂壤<br>土(1.5<br>cm/日以<br>下)を含<br>む.〕                                                                     | (1) 著しい多雨条<br>件では除草効果<br>が低下する場合<br>があるので使用<br>はさしひかえる.<br>(2) オモダカ防除<br>はオモダカに有<br>効な剤との組み<br>合わせで使用する.<br>(3) クログワイ防<br>除はクログワイ<br>に有効な剤との<br>組み合わせで使<br>用する.<br>(4) クログワイに<br>有効な剤との組<br>み合わせて連年<br>施用することに<br>よりさらに効果<br>が向上する(寒<br>冷地北部).                                    |
| VII<br>3.<br>長期持続型一発処理剤     | ② KUH-891<br>粒                                           | 土壌処理    | 寒地・寒冷<br>地北部.           | 一年生雑草・マツ<br>バイ・ホタルイ・<br>ウリカワ・ミズガ<br>ヤツリ・ヘラオモ<br>ダカ・ヒルムシロ・<br>セリ・アオミドロ・<br>表層剥離.<br>〔但し、ウリカワ・<br>ヘラオモダカ・<br>セリは寒地のみ.<br>ミズガヤツリは<br>寒冷地北部のみ.〕                                                                                                                                | +5〜ノビエ 1.5<br>L まで.<br>ホタルイ・ウリカ<br>ワ・ヘラオモダカ;<br>2 L まで.<br>〔但し、寒冷地北<br>部のホタルイは<br>発生始まで.<br>ミズガヤツリ; 発<br>生始まで.<br>ヒルムシロ; 発生<br>期.<br>セリ; 再生前〜始.                                                                                              | 300 g/a | 埴土〜埴土<br>(2 cm/日<br>以下).                                                                                                                       | (1) 著しい多雨条<br>件では除草効果<br>が低下する場合<br>があるので使用<br>はさしひかえる.                                                                                                                                                                                                                           |

| 区分                      | 薬剤名                     | 処理      | 適用地域      | 適用草種                                                                                                                  | 処理時期                                                                                                                            | 使用量     | 適用土壌              | 使用上の注意                                   |
|-------------------------|-------------------------|---------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------|------------------------------------------|
| Ⅶ-3.<br>長期持続型一発処理剤(つづき) | ② KUH-891<br>粒<br>(つづき) |         |           |                                                                                                                       | アオミドロ・表層剥離; 発生前.                                                                                                                |         |                   |                                          |
|                         | ③ KUH-891<br>①粒         | 土壌処理    | 寒冷地南部.    | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・セリ・アオミドロ・表層剥離.                                                                            | +5~ノビエ1.5Lまで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始まで.<br>セリ; 再生前~始.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前.                                                     | 300 g/a | 壤土~埴土(2 cm/日以下).  | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる. |
|                         | ④ NC-311<br>BCG①粒       | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地北部.    | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ.                                                                          | +5~ノビエ2.5L.<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前~始.                                                      | 300 g/a | 埴壤土~埴土(2 cm/日以下). | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる. |
|                         | ⑤ NC-311<br>SC粒         | 茎葉兼土壌処理 | 寒地.       | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.                                                                      | +10~+20(ノビエ2.5L)まで.<br>ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前~始.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前.                                 | 300 g/a | 壤土~埴土(2 cm/日以下).  | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる. |
|                         | ⑥ NC-326<br>粒           | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地以北.    | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカ・ヒルムシロは寒冷地南部を除く. アオミドロ・表層剥離は寒地のみ.〕 | +5~ノビエ2.5Lまで.<br>〔但し、寒地は+10~+20(ノビエ2.5L)まで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前~始.<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前. | 300 g/a | 壤土~埴土(2 cm/日以下).  | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる. |
|                         | ⑦ NH-728<br>粒           | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地北部. | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ.<br>〔但し、ミズガヤツリ・ヒルムシロ・セリは寒冷地北部のみ.〕                                         | +5~ノビエ2Lまで.<br>〔但し、寒地は+10~+20(ノビエ2L)まで.〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで.<br>ヒルムシロ; 発生期.<br>セリ; 再生前~始.                         | 300 g/a | 壤土~埴土(2 cm/日以下).  | (1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる. |

| 区分                      | 薬 剤 名                       | 処理      | 適用地域                       | 適用 草 種                                                                                                                                    | 処 理 時 期                                                                                                                                        | 使 用 量   | 適用土壌                                                                                          | 使用上の注意                                                                                 |
|-------------------------|-----------------------------|---------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅶ—3.<br>長期持続型一発処理剤(つづき) | ⑧ TH-913<br>BSM粒            | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地南部・温暖地の普通期・温暖地西部の早期。 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地のみ。ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地西部のみ。セリは寒地・寒冷地南部・温暖地西部のみ。〕 | +5～ノビエ2.5Lまで。<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。〕<br>温暖地西部は+5～ノビエ2Lまで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>セリ; 再生前～始。アオミドロ・表層剥離; 発生前。 | 300 g/a | 壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、温暖地東部は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む。温暖地西部早期は(1cm/日以下)。温暖地西部普通期は砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。〕 | (1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。                                              |
|                         | ① DPX-84<br>B粒<br>(ロザール25)  | 茎葉兼土壌処理 | 寒地・寒冷地北部。                  | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。<br>〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕                                        | 田植前後に初期剤を少量散布した場合。<br>+5～ノビエ2.5Lまで。<br>〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2.5L)まで。〕<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。<br>アオミドロ・表層剥離; 発生前。        | 300 g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。<br>〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。〕                                                  | (1) 初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上。<br>(2) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。            |
|                         | ② NC-311<br>BC粒<br>(サーベイヤ)  | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地。                       | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ヘラオモダカは寒冷地北部のみ。〕                                                                               | 田植前後に初期剤を少量散布した場合。<br>+5～+20(ノビエ2.5L)まで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。                                                                     | 300 g/a | 壤土～埴土(2cm/日以下)。                                                                               | (1) 初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上。<br>(2) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。 |
|                         | ③ NC-311<br>CG粒<br>(ライザー20) | 土壌処理    | 寒冷地北部。                     | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。                                                                                                        | 田植前後に初期剤を少量散布した場合。<br>+5～+15(ノビエ2L)まで。<br>ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。<br>ヒルムシロ; 発生期。                                                               | 300 g/a | 砂壤土～埴土(2cm/日以下)。                                                                              | (1) 初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上。<br>(2) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。            |

| 区分                    | 薬剤名                   | 処理      | 適用地域                          | 適用草種                                                                          | 処理時期                                                               | 使用量                       | 適用土壌                                                                                           | 使用上の注意                                                                    |
|-----------------------|-----------------------|---------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| VIII-1.<br>少量散布法(つづき) | ④ NC-311 R粒<br>(ペルーフ) | 茎葉兼土壌処理 | 寒冷地.                          | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ.                                           | 田植前後に初期剤を少量散布した場合、+7~+20(ノビエ2.5L)まで。ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 | 300 g/a                   | 壤土~埴土(2cm/日以下).                                                                                | (1) 初期剤を前処理に少量散布することにより除草効果向上。<br>(2) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 |
| VIII-2.<br>少量散布       | ① CG-113 粒<br>(ソルネット) | 土壌処理    | 寒冷地・温暖地の早期・普通期・ <u>暖地早期</u> . | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。<br>〔但し、ミズガヤツリは温暖地西部・暖地のみ。ヘラオモダカは寒冷地北部のみ。〕 | 植代後~4.ノビエ; 1Lまで。ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。                         | g/a<br>150~200<br>(少量散布). | 砂壤土~埴土(2cm/日以下).<br>〔但し、温暖地東部早期は(1cm/日以下). 温暖地西部普通期・暖地早期は(1.5cm/日以下). 温暖地西部早期は埴土~埴土(1cm/日以下).〕 | (1) 一発処理型除草剤の前処理として植代後~4に少量散布(150~200 g/a)が可能。                            |
|                       | ② MTS-1 粒<br>(ショウロンM) | 土壌処理    | 寒冷地・温暖地の早期・普通期・ <u>暖地早期</u> . | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ.                                                              | 植代後~4.ノビエ; 1Lまで。ホタルイ; 発生始まで。                                       | g/a<br>150~200<br>(少量散布). | 砂壤土~埴土(2cm/日以下).<br>〔但し、温暖地西部普通期・暖地早期は(1.5cm/日以下). 温暖地西部早期は埴土~埴土(1cm/日以下).〕                    | (1) 一発処理型除草剤の前処理として植代後~4に少量散布(150~200 g/a)が可能。                            |
|                       | ③ YH-3 粒<br>(リーダル)    | 土壌処理    | 温暖地東部の早期・普通期.                 | 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ.                                                              | 植代後~4(雑草発生前).                                                      | g/a<br>150~200<br>(少量散布). | 砂壤土~埴土(2cm/日以下).                                                                               | (1) 一発処理型除草剤の前処理として植代後~4に少量散布(150~200 g/a)可能。                             |

注) 1. アンダーライン実線は本年度拡大された部分。点線はその一部が拡大されたものを示す。

2. 薬剤名欄の下段に商品名〔( )内〕または農薬登録後予定される商品名を〔( )内\*印付〕を参考の為に記載した。

# 【ポラリス】 だったら、 5満足。

ポラリスはここが満足。  
数えたら、5つありました。

- ① いろいろな雑草に効きます。
- ② 効きめじっくり、効果は長持ち。
- ③ サラッと撒いて、ラクに使えます。
- ④ 人にも自然にも安心成分です。
- ⑤ 値段もお手頃、経済的です。

● 詳しい資料をご希望の方は、下記住所までご請求ください。

ポラリス普及会 塩野義製薬株式会社・北興化学工業株式会社

事務局 日本モンサント株式会社 アグロサイエンス事業部 〒100 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル Tel.(03)287-1251

水田・畑・家まわりの除草に。  
黄色いボトルで新登場。



## らくらく散布で多年草も防除



容器のまま代かき時に

散布できる水田除草剤

# デルカット®

(オキサジアゾン・ブタクロール除草剤)

## 乳剤

★安全で省力的な機械散布もできます。

——— デルカット普及会 ———

日産化学・北興化学・ローヌ・プーラン アグロ・日本モンサント  
〈事務局〉日産化学工業(株)農業事業部内 東京都千代田区神田錦町3-7-1

®：日本モンサント(株)登録商標

## □ 研 究 所 ・ 試 験 場 め ぐ り □

## 果樹試験場盛岡支場

当試験場は盛岡市内から国道4号線を車で北に8kmほど走ったところにあり、南側に東北農業試験場、北に森林総合研究所、西に家畜改良センター岩手牧場、野菜・茶業試験場盛岡支場などにかこまれた広大な農林水産省の試験研究団地のなかに位置している。最近はこの辺にも都市化の波が及んできたが、昭和36年に試験場が青森県からこの地に移転してきた頃は、カラマツの防風林の中でカッコーが鳴いていたりしたものである。

当試験場は、昭和13年にリンゴ栽培の中心地である青森県藤崎町に設立された園芸試験場東北支場に端を発している。その後、昭和36年に現在の盛岡の地に移り、さらに昭和48年には野菜部門とわかれて果樹試験場盛岡支場になり現在に至っている。

育種、栽培、流通利用、病害、虫害の5研究室があり、リンゴを中心とした寒冷地果樹の研究を行っている。研究員が16名の小じんまりした試験場であるが、これまで、わが国の主要リンゴ品種「ふじ」を育成したほか、世界で初めてリンゴの水耕栽培に成功し、その技術を用い

て果樹の栄養生理の基礎を築いたことなど、多くの重要な成果をあげている。わが国におけるリンゴのわい化栽培も盛岡支場から広がったものである。

除草剤を含む生育調節剤の研究については栽培研究室でおこなわれており、この面でもかなりの成果を挙げてきている。

## 雑草防除研究

わが国で果樹園用除草剤の研究が始まったのは昭和40年ごろであった。果樹試験場盛岡支場でもその頃からシアン酸ソーダ、DCPAなどを用いたリンゴ園用の除草剤の開発研究を開始している。

しかし、リンゴ園ではその頃すでに草生栽培が広く普及しており、園地に雑草を生育させることは土壌を肥沃にし、むしろ樹の生育にはプラスになることが認められていた。従って、除草剤の役割も、ほかの作物のように雑草を1本も生やさないようにするというのではなく、草が高くなりすぎて作業の邪魔になったとき、草刈りのかわりに除草剤を用いるというものであった。

そこで、「草刈り代用除草剤」などという言葉が生まれ、地上部だけを枯らせて根部は殺さないという除草剤が探索された。この目的に最も適合する除草剤として、グラモキソンが選択され、実用化とともにかなりのリンゴ園で利用されるようになった。さらに、ラウンドアップ、バスタ、ハービエースなど、土壌中では速やかに無効化する除草剤の実用化についても各県の公立研究機関と共に研究を進めてきた。

土壌中で残効が長く続くものについても「永久除草剤」などと称して研究を行ってきた。しかし、これらの除草剤は草刈り作業の省力効果は大きい



が、草生栽培の維持には有害であり、実用化しても使用場面がかなり制限されるようである。

なお、「草刈り代用除草剤」についても、草刈り作業の省力化になるが、機械による草刈りより生草量が少なくなるので、土壌肥沃化の面からはマイナスの傾向がある。従って、リンゴ園においては草刈機が使いにくいわい化園を除いて、除草剤の使用は草刈機の補助としての役割が強い。

リンゴのわい化栽培は昭和50年以降に急速に普及したのであるが、下枝が極めて低く仕立てられるので、草刈機による樹冠下の草刈りが困難であった。そのため、盛岡支場でも各県の試験研究機関と協力して樹冠下用の除草剤の開発研究を行い、前述の「草刈り代用除草剤」を主体とした樹冠下の雑草管理体系を確立した。わい化リンゴ園の樹冠下でも雑草が1本も生えないような状態にすることは不健全と考えられるので、「草刈り代用除草剤」が主体となるのである。

### 生育調節剤研究

盛岡支場における生育調節剤の研究は、第2次大戦直後の昭和24年の2,4-D, NAAを用いたリンゴの収穫前落果防止試験が最初であると思われる。さらに昭和27年からはこれらのホルモン剤を用いた摘果試験と、機械油乳剤を用いた摘花試験が開始された。以来、ずっと収穫前落果防止剤と摘果・花剤の開発研究は栽培研究室の「メシのたね」となっており、今日までに落果防止剤としてストッポール、マデック、摘果剤としてデナポンを実用化させてきた。現在はこれら実用化された薬剤の作用機構を検討し、さらに安定した使用法の確立のための研究

を継続している。その結果として、ストッポールは果実に直接かけるより葉に散布したほうが落果防止効果が高いこと、一方、デナポンは果実に直接散布しないと摘果剤としての効果が劣ることなどを明らかにしてきた。

また果実の商品性を高めるため、果面サビ発生防止剤、着色及び成熟促進剤、果実肥大促進剤などの開発研究を行ってきた。これらについてもいくつかの有力な薬剤が見つかっており、今後の検討で広く使われるものも出てくると考えている。ただし、成熟を促進すると果実が軟化しやすくなり、果実を肥大させると果形がくずれるなどのマイナスの副作用がこれらの薬剤には発生しやすい傾向がある。実用化のためにはこれらの副作用のコントロールが必要であり、このための研究が鋭意行なわれているところである。

また、盛岡支場ではカルシウムがビターピット、ゴム病など果実の生理障害防止に効果があることを世界に先駆けて明らかにした。この結果に従い、これまでにいくつかのカルシウム剤を実用化させてきた。カルシウムについては肥料成分であり、ホルモン剤などと一緒に生育調節剤として取り扱えるのかという問題もあるが、最近では、果面サビ防止や着色増進など植調効果も認められている。

このほか最近の話題として樹の生育抑制剤の利用が注目されている。これらの薬剤は樹をわい化させるだけでなく、果肉硬度を高めたり花芽の形成を促進するなどの効果があることがしだいに明らかになっている。これらの実用化についても、公立試験研究機関と協同して研究を進めているところである。

(果樹試験場盛岡支場栽培研究室長 福田博之)



「確かさ」で選ぶ…  
バイエルの農薬

# 新しい時代のヒエ剤 ® ヒノクロア粒剤

メフェナセット4.0%

## 特長

- ①ヒエに安定した高い効果。
- ②処理適期幅が広く使い易い。
- ③土壌吸着力に優れ、移植水稻に安全性が高い。
- ④残効性に優れる。
- ⑤毒性が低く人畜、魚介類に安全性が高い。

®は登録商標

日本特殊農薬製造株式会社

東京都中央区日本橋本町2-7-1 ☎ 103

水田初・中期一発処理除草剤  
処理適期幅が広く効果的



® ザーク粒剤



® シンザン粒剤



® アクト粒剤

水稻用中期除草剤

707SM粒剤

●農薬は正しく使いましょう！



水田雑草の除草に

武田 **ゴルボ** 粒剤 17/25

**GORBO** 17/25

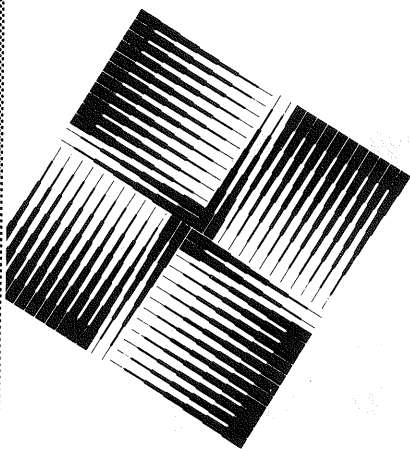


水田除草、新時代

ゴルボ普及会

武田薬品・日本チバガイギー・デュポン ジャパン リミテッド

# 水田多年生雑草に、落水処理であざやかな効果



散布適期が広く、使いやすい除草剤

## バサグラン®

粒剤(ナトリウム塩)、液剤(ナトリウム塩)

適用雑草 ● オモダカ・クログワイ・ミスガヤツリ・ウリカワ・シズイ、水田一年生広葉雑草等

効きめと安全の信頼にこたえる

**住友化学**

原体販売元＝住友化学工業  
東京都中央区日本橋2丁目7番9号

バサグラン普及会

クミアイ化学工業・三共  
サンケイ化学・日本農薬  
北興化学工業・八洲化学工業  
事務局＝住友化学工業

®は西ドイツBASF社の登録商標です。

☆ショートレビューが新しくなりました☆

## Short Reviews of Herbicides & PGRs 1991

B5判/384頁/定価25,000円(税込)

**特徴**

1. 除草剤のほか、新たに成長調節剤を加えました。

最新の情報により現在、世界各国で使われている植物成長調節剤 (plant growth regulator) 131剤の各種データを記載しました。

2. 除草剤のデータがいっそう充実しました。

前回版、発行後に発表された45化合物を加えました。また、従来の剤についても新しいデータを加え、いっそう充実させました。

取扱

**全国農村教育協会**

東京都台東区台東1-26-6(植調会館)  
〒110 ☎03-833-1821

財団法人 日本植物調節剤研究協会  
東京都台東区台東1丁目26番6号  
電話 東京(03)3832-4188(代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 楠 潤 欽 也  
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸 七

平成3年3月発行 定価412円(送料210円)  
植調第24巻第12号 (本体400円, 消費税12円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会  
発行所 植調編集印刷事務所  
電話 東京(03)3833-1821番(代)

40周年



いろいろな視点で  
収穫を見つめて。

高温多湿で病害虫、雑草の多い日本では、  
農薬のない農業は成り立ちません。



農協  
経済連  
全農



北興化学工業株式会社  
東京都中央区日本橋本石町4-4-20

## ホクコーの主要除草剤

初期一発処理剤

**プッシュ**® 粒剤

**クサカリン**® 粒剤

初期除草剤

**デルカット**® 乳剤

**ロンスター**® 乳剤

**マーシェット**® 粒剤2.5

**モーダウン**® 粒剤

中期除草剤

**セスロン**® 粒剤

**バサゲラン**® 粒剤・液剤  
(ナトリウム塩)

果樹・畑作・その他除草剤

**ポラリス**® 液剤

**ハービエース**®  
水溶剤

新刊

## 待望の植物生態図鑑 遂に完成

原色日本

# 山野草・樹木生態図鑑

シダ類・裸子植物・被子植物(離弁花)編

監修/沼田 真

編者/浅野貞夫・桑原義晴

B5判・672頁・オールカラー・定価25,000円(本体24,272円)

内容見本進呈

植物の種類数が豊富

写真と図を併用した生態図鑑で植物が一目で判る

特色

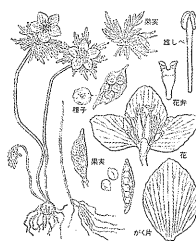
生活型を記載した

類似種の区別が容易

北海道から沖縄まで日本列島に生育する  
シダ植物、山野草、雑草、帰化植物、樹木の  
ほとんどについて、カラー写真2,655点、  
図版830点をつかい、生育環境や生活型、  
個々の種の特徴や類似植物との区別点などを  
追究した、今までに類を見ない植物生態図鑑。



図中、葉の裏面に黒い点がある。キアザミクという



1980.3.9 埼玉県秩父 (杉尾)

セツブンスウ

Setsubunso

Shibatanthis pinnatifida Satake et Okuyama

夏緑性多年草。成長期間2〜3月。山地の落葉広葉樹林の林

(キンボウケ科)

小葉片は線形で鈍頭。葉は直立し、高さ5〜15cm。茎上部に  
無節の苞葉がつく。茎、葉ともに軟弱で無毛。【花・果実】花  
期は2〜3月。花は茎先の苞葉の上に1個つく。花の径2〜3  
cm。花弁状の苞片は5個、白色で卵形、長さ1〜1.5cm。花弁は

全国農村教育協会

東京都台東区台東1-26-6 〒110  
TEL 03-833-1821 FAX 03-833-1665

# 流れは一発、ワンオール



水田初期一発処理除草剤

## ワンオール® 粒剤



農協  
経済連  
全農

ワンオール協議会

全国農業協同組合連合会 石原産業株式会社  
日本チバガイギー株式会社 八洲化学工業株式会社

事務局 石原産業株式会社

東京都千代田区富士見2-10-30

# チョットつけるだけ。 タップリかける時代の終りです。

小沢昭一

ラウンドアップ®の特徴を活かした新しい  
除草法です。(少量散布技術)

●薬量が250mlと少なく経済的。

通常の散布方法で10アール当り500mlの薬量が必要な  
場面でも、250mlで同じ効果を出すことができます。

●散布水量が25ℓ(今までの $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ )  
と少なく省力的。

除草剤の散布は薬剤によって10アール当り100ℓあるいは200ℓの散布水量が必要でしたが、専用ノズルを取り  
替えるだけでわずか25ℓで済み散布、準備、水の運搬、  
薬剤の調合が楽になり省力的です。

●ラウンドアップを詳しく説明したパンフレットを差しあげております。  
下記の住所までお申し込みください。



しっかり枯らす。  
長〜く抑える。ラウンドアップ®

ラウンドアップ普及会  
クマイ化学工業(株)・三共(株)

事務局 日本モンサント株式会社 アグロサイエンス事業部  
〒100 東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル Tel. (03)287-1251

® 米国モンサント社登録商標

# 自信の選択。



水田除草、新時代。

水田除草に新しい時代をひらいたDPX-84剤

プッシュ<sup>®</sup> ウルフェイス<sup>®</sup> ザーク<sup>®</sup>  
コルボ<sup>®</sup> フジワラス<sup>®</sup>

※DPX-84の一般名はペンシルフロンメチル

(登録番号順)



デュポン ジャパン リミテッド 農業事業部  
〒105 東京都港区虎ノ門2-10-1 新日輪ビル・デュポンタワー TEL. (03)3224-8683

# 力と技の ウルフエース

頑固な雑草に必殺一発パンチ!

これぞ  
水田除草剤の  
定番!!



農協・経済連・全農

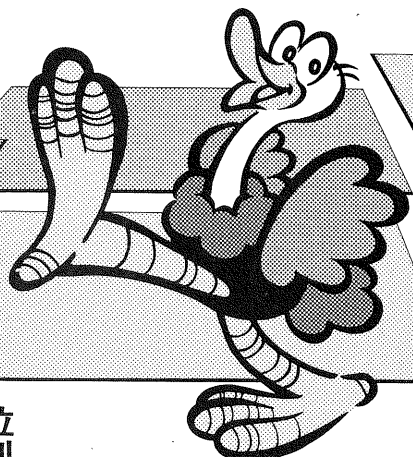


自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

## 効きめ、あざやか。

「初期」から「中期」への絶妙のバトンタッチ。



水田中期除草剤

### マメット<sup>®</sup>SM 粒剤

- ノビエの3.5葉でも効果バッチリ/
- 多年生雑草にも効果抜群/

■雑草の発生に合わせて姉妹品もどうぞ。

マメット<sup>®</sup>粒剤/オードラム<sup>®</sup>M粒剤/エスドラム<sup>®</sup>粒剤/ナクサー<sup>®</sup>粒剤



農 協  
経 済 連  
全 農

モリネット普及会

八洲化学/三笠化学/アイ・シー・アイ・ジャパン/トーマン

事務局 八洲化学工業株式会社 〒103 東京都中央区日本橋本町1-9-4